H.264 HIGH DEFINITION Digital Video Recorder

デジタルビデオレコーダー

DVR-404AH
DVR-408AH
DVR-416AH

取扱説明書

ご使用前にこの「簡易マニュアル」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、必要なときに読めるように大切に保管してください。

●安全上のご注意●

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用いただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示を使用しています。なお本機は、事件や事故を未然に防ぐものではありませんのでご理解願います。

●表示マークについて●

表示	内容	マーク	内容
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	禁止	禁止の行為を伝えるものです。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定されます。	強制	強制事項の内容を伝えるものです。

⚠ 警　告

マーク	内容
禁止	取付け場所などを移動するときは、必ずすべての電源を切った状態で線をはずしてから移動してください。
分解禁止	本製品は精密機械ですから分解したり、改造しないでください。故障の原因となります。
禁止	電源コード類を傷つけたり加工したり、引っ張らないでください。電源コード類が破損し、火災、感電の原因となります。
強制・電源プラグを抜く	万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態の場合はすぐに電源を切り、電源プラグを持ちコンセントから抜いてください。

⚠ 注　意

マーク	内容
禁止	内部の点検、調整、修理は販売店にご相談ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
禁止	設置工事による事故や障害が生じた場合は当社では責任を負えません。専門技術者による施工をご依頼するようおすすめいたします。
禁止	重いものをのせたりすると本製品が破損し、火災、感電の原因となります。
ぬれ手禁止	ぬれた手で触らないでください。感電の原因となります。

【はじめに】

DVR-404AH/408AH/416AH をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書および本書に記載されているソフトウェア、ハードウェアは著作権法により保護されます。
したがって、著作権法内で一般的な使用のためのコピーを除いて、株式会社ダイワインダストリの許可なしに本書の一部または全部のコピー、再印刷、他国語への翻訳などはできません。
仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更することがあります。

【商品の保証について】

この商品の保証期間はお買い上げ日から 2 年間です。
但し、下記の場合は保証期間内であっても保証対象外になります。

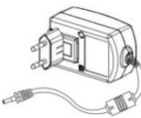
- お客様の取扱上の不備により生じた不具合の場合
- お客様から商品に加工・交換などが行われた場合
- 定格電源以外の電源をお使いの場合
- 火災・地震・洪水・落雷などの天災により生じた不具合の場合
- 消耗品 (ハードディスクなど) の交換の場合

※ DVR の HDD 寿命は、概ね 20,000 時間です。ただし、目安であり保証ではありません。

【安全のため必ずお守りください】

⚠ 警 告

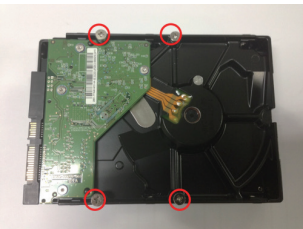
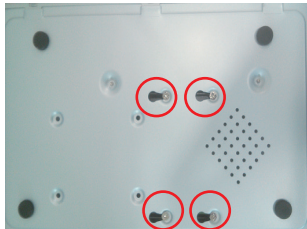
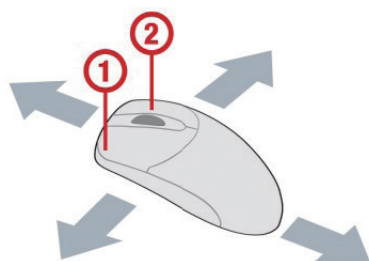
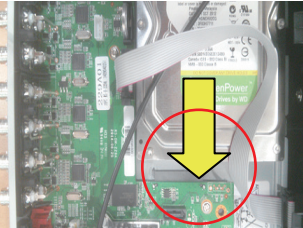
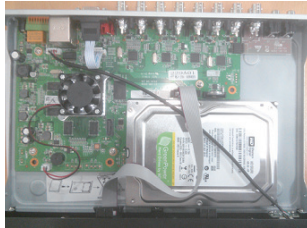
- 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない
- 電源コードを傷つけない
- 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない
- 分解したり、改造しない
- 内部に異物を入れない
- 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない
- ぬらさない
- 雷が鳴り出したら使わない
- 不安定な場所に設置しない
- 衝撃や振動を与えない
- 爆発の危険があるところでは使わない

⚠ 注 意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない
- ぬれた手で電源プラグをさわらない
- 上に乗らない
- コード類は正しく配線する
- 接続する機器の上に重いものを置かない
- 電源プラグをコンセントに接続したまま移動させない
- 電源プラグをコンセントに接続したままお手入れしない
- 通風孔や放熱ファンをふさがない
- 急激な温度・湿度変化の場所に置かない

※ご注意※

【ネットワーク設定に関するお問い合わせについて】

お問い合わせ頂いた内容によっては、弊社技術者が、直接設置場所に伺い対応いたします。
その場合には、別途費用が発生いたします。詳細についてはお問い合わせください。

■ 製品および付属品の構成

DVR 本体	
クライアント CD	
リモコン Remote Control	
リモコン用乾電池 1.5V（AAA x 2 個）	
簡易マニュアル（リモコン操作版）	
アダプタ（DC12V 2A）	
マウス	

① 左ボタン：項目を選択（SELECT）
② ホイール：ドロップダウンメニューでの移動

■ ハードディスクの取り付け

<4CH Model>

1. HDD のビス穴に 4 本のネジを半分ほどねじ込みます。まだ完全には締めこみません。	2. HDD をブラケットのハウジングに入れ、端までスライドさせます。	3. ケースを裏返し、HDD のビスを 4 つの穴に固定します。
4. HDD と基板の間を電源ケーブルと SATA ケーブルで接続します。		

<8 & 16CH Model>

1. HDD をブラケットのハウジングに入れ、端までスライドさせます。	2. HDD のビス穴と位置を合わせて 4 本のビスで固定します。	3. HDD の結合が完成です。

■ 互換性のあるハードディスク一覧

Company	Models	Size	SATA Type	RPM	BUFFER
Seagate	ST3000VX000-1CU166	3 TB	SATA 3	7200 RPM	64 MB
	ST3000DM001(CC43)	3 TB	SATA 3	7200 RPM	64 MB
	ST3000DM001(CC24)	3 TB	SATA 3	7200 RPM	64 MB
	ST2000VM003	2 TB	SATA 3	5900 RPM	64 MB
	ST2000VM002	2 TB	SATA 2	5900 RPM	64 MB
	ST2000DL003(barracuda green)	2 TB	SATA 3	5900 RPM	64 MB
	ST32000641AS(Barracuda XT)	2 TB	SATA 3	7200 RPM	64 MB
	ST2000DM001	2 TB	SATA 3	7200 RPM	64 MB
	ST1000VX000	1 TB	SATA 3	7200 RPM	64 MB
	ST1000VM002 [fw: sc12]	1 TB	SATA 3	5900 RPM	64 MB
	ST1000DM003	1 TB	SATA 3	7200 RPM	64 MB
	ST31000524AS(barracuda 7200.12)	1 TB	SATA 3	7200 RPM	32 MB
	ST31000322CS(pipeline)	1 TB	SATA 2	5900 RPM	8 MB
	ST31000526SV(Surveillance)	1 TB	SATA 3	7200 RPM	32 MB
	ST31000524AS(Barracuda)	1 TB	SATA 3	7200 RPM	32 MB
	ST31000340SV(Surveillance)	1 TB	SATA 2	7200 RPM	32 MB
	ST31000528AS(Barracuda)	1 TB	SATA 2	7200 RPM	32 MB
	ST3500312C8	500 GB	SATA 2	5900 RPM	8 MB
	ST500DM002(barracuda)	500 GB	SATA 3	7200 RPM	16 MB
	ST3500312CS(pipeline)	500 GB	SATA 2	5900 RPM	8 MB
	ST3500411SV(Surveillance)	500 GB	SATA 3	7200 RPM	16 MB
	ST3500413AS(Barracuda)	500 GB	SATA 3	7200 RPM	16 MB
	ST3500830SCE	500 GB	SATA 2	7200 RPM	8 MB
	ST3500418AS(Barracuda)	500 GB	SATA 2	7200 RPM	16 MB
	ST3500410AS(Barracuda)	500 GB	SATA 2	7200 RPM	16 MB
	ST250DM000(barracuda)	250 GB	SATA 3	7200 RPM	16 MB
	ST3250312CS(pipeline)	250 GB	SATA 2	5900 RPM	8 MB
	ST3250410AS(Barracuda)	250 GB	SATA 2	7200 RPM	16 MB
	ST3250310SV(Surveillance)	250 GB	SATA 2	7200 RPM	8 MB
	ST3250318AS(Barracuda)	250 GB	SATA 2	7200 RPM	8 MB
	ST3160815AS(Barracuda)	160 GB	SATA 2	7200 RPM	8 MB
HITACHI	HDS723020BLA642	2 TB	SATA 3	7200 RPM	64 MB
	HDS722020ALA330	2 TB	SATA 2	7200 RPM	32 MB
	HDS721010DLE630	1 TB	SATA 3	7200 RPM	32 MB
	HDS721010KLA330	1 TB	SATA 2	7200 RPM	32 MB
	HDT721010SLA360	1 TB	SATA 2	7200 RPM	16 MB
	HDS721010CLA332	1 TB	SATA 2	7200 RPM	32 MB

HITACHI	HDS721050DLE630	500GB	SATA 3	7200 RPM	32 MB
	HDS721050CLA362	500 GB	SATA 2	7200 RPM	16 MB
	HDP725050GLA360	500 GB	SATA 2	7200 RPM	16 MB
	HDS721032CLA362	320 GB	SATA 2	7200 RPM	16 MB
	HDS721025CLA382	250 GB	SATA 2	7200 RPM	8 MB
	HDT721025SLA380	250 GB	SATA 2	7200 RPM	8 MB
	HDP725025GLA380	250 GB	SATA 2	7200 RPM	8 MB
Western Digital	WD20PURX-64P6ZY0	2 TB	SATA 3		64 MB
	WD20EURS-63SPKY0	2 TB	SATA 2	5400 RPM	64 MB
	WD5000AAKX-00ERMA0	500 GB	SATA 3	7200 RPM	16 MB
	WD5000AVCS-632DY1	500 GB	SATA 2	5400 RPM	32 MB
	WD30EURS-63SPKY0	3 TB	SATA 2	5400 RPM	64 MB
	WD30EZRX-00MMM	3 TB	SATA 3	5400 RPM	64 MB
	WD30EURS-63R8UYO	3 TB	SATA 2	5400 RPM	64 MB
	WD10EZEX-00RKKAO	1 TB	SATA 3	7200 RPM	64 MB
	WD20EARS	2 TB	SATA 2	5900 RPM	64 MB
	WD20EARX(00PASB0)	2 TB	SATA 3	5900 RPM	65 MB
	WD20EADS	2 TB	SATA 2	5400 RPM	32 MB
	WD20EURS	2 TB	SATA 2		64 MB
	WD10EURX(63FH1Y0)	1 TB	SATA 3	5400 RPM	64 MB
	WD10EZRX(00A8LB0)	1 TB	SATA 3	5400 RPM	64 MB
	WD10EARS(00Y5B1 Caviar Green)	1 TB	SATA 3	5400 RPM	64 MB
	WD10EVDS(63U8B1)	1 TB	SATA 3	7200 RPM	32 MB
	WD10EALX(229BA1)	1 TB	SATA 3	7200 RPM	32 MB
	WD10EALX(009BA0)	1 TB	SATA 3	7200 RPM	32 MB
	WD10EVVS	1 TB	SATA 2	5400 RPM	8 MB
	WD10EACS	1 TB	SATA 2		16 MB
	WD10EUCX	1 TB	SATA 3		16 MB
	WD10EURS(630AB1)	1 TB	SATA 2	5900 RPM	64 MB
	WD5000AAKX(221CA1 Caviar Blue)	500 GB	SATA 2	7200 RPM	16 MB
	WD5000AAKX(001CA0)	500 GB	SATA 3	7200 RPM	16 MB
	WD5000AVCS	500 GB	SATA 2		16 MB
	WD5000AACS	500 GB	SATA 2	5400 RPM	16 MB
	WD2500AVVS(63L2B0)	250 GB	SATA 3		
	WD2500AAKX	250 GB	SATA 3	7200 RPM	16 MB
	WD2500AVVS	250 GB	SATA 2		8 MB
	WD2500AAKS	250 GB	SATA 2	7200 RPM	16 MB
TOSHIBA	HDS723020BLE640	2 TB	SATA 3	7200 RPM	64 MB

●ご注意ください

全てのハードディスクはブランド名とモデル名が一致していること。
一致していない場合には DVR がハードディスクを認識しないことが有ります。

■ 仕様

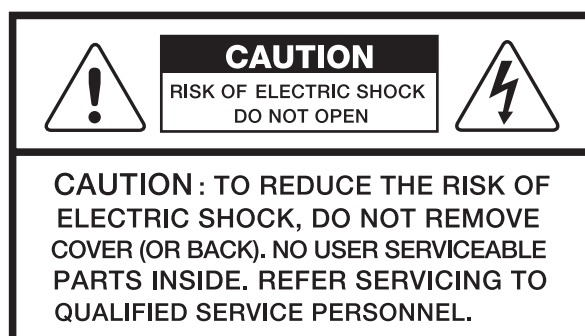
MODEL			4CH	8CH	16CH
項目			Analog HD/960H Hybrid DVR		
映像	入力	チャンネル数	4	8	16
		CCTV カメラ	AHD (720p25/30) or 960H		
	出力	メインモニター	HDMI + VGA(Max. 1920x1080)		
		サブモニター	無し		
音声	入力 / 出力		4 (Line in) / 1 (Line out)		
	圧縮方式		G.711		
アラーム	センサー入力		4		
	アラーム出力		1		
シリアルポート	RS-485		1		
録画	圧縮方式		H.264(Main Profile)	H.264 (High Profile)	
	AHD カメラ入力	1280x720	Max 15fps/ch		
		640x360	Max 15fps/ch		
	アナログカメラ入力	960H	Max 30fps/ch		
		D1	Max 30fps/ch		
		CIF	Max 30fps/ch		
	録画画質グレード		5 段階		
	録画モード		常時 / モーション / センサー / スケジュール / 手動		
	イベント前録画		最長 20 分		
	イベント後録画		最長 60 秒		
再生	記録映像検索モード		日時指定 / イベント / キャプチャーリスト / ログ		
	マルチ画面		1, 4	1, 4, 8	1, 4, 9, 16
	再生速度		x0.25, x0.5, x2, x4, x8, x16, x32 & x64(1 画面)		
バックアップ	保存メディア		USB メモリ / 外付け HDD/ ネットワーク		
	ファイル形式		BMP, AVI, 独自形式		
	長時間対応		最長 24 時間		
保存装置	HDD	容量 /1 個	2TB (最大 4TB)		
		最大搭載可能数	1		
		e-SATA	無し		
	USB	前面	1		
		背面	1		
ユーザー I/F	入力方式		IR リモコン / マウス / キーボード		
ネットワーク	インターフェース		10/100 Base-T		
	DDNS		Free DDNS		
	デュアルストリーム		○		
機能	デジタルズーム		○		
	DLS (Day Light Saving)		○		
	NTP (Network Time Protocol)		○		
	S.M.A.R.T		○		
	ブザー内蔵		○		
	多言語		○		
	e-mail 通知		○		
ネットワーク接続	モバイル		iPad / iPhone / Android		
	Web ビューア		Windows (IE, Chrome, Firefox, Safari)		
	PC クライアント		Single / Multi Client and CMS (64 channels)		
	遠隔設定、遠隔アップグレード		○		
電源	電源電圧		DC 12V 2A		
温度	動作温度		5° C ~ 40° C		
	保存温度		-10° C ~ 50° C		
湿度	動作湿度		20% ~ 80% (結露無き事)		
重量	ユニット重量 (梱包時)		1.5kgs (3.0kgs)		
寸法	寸法 (W x H x D)		300mm x 53mm x 227mm		

※仕様および外観は、性能改善などにより予告なく変更することがあります。

安全にご使用いただくために

CAUTION

RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN

CAUTION : TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE COVER (OR BACK). NO USER SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.

危険に関するシンボルについて

操作とメンテナンスサービスに関する重要な説明書が付属しています。

製品の筐体の中に、絶縁されていない " 危険な電圧 " が存在していることを示します。
感電の恐れがあります。

危険

火災や感電の危険を防止するために、この製品を雨または湿気にさらさないでください。

警告

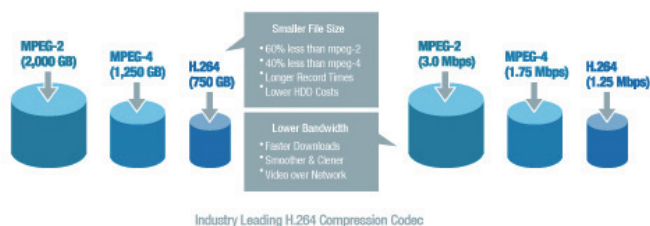
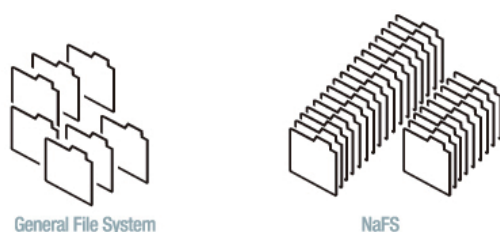
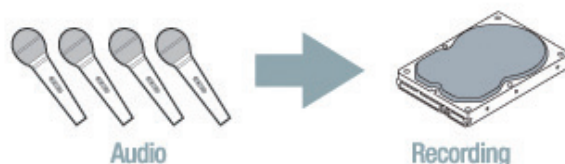
製造者の明確な承認なしに変更や改造を加えた場合にはこの機器を操作する使用者の権限が無効にされます。

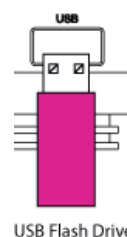
警告

誤ったバッテリー交換は破裂の恐れがあります。
同じものか製造者が推奨する互換性のあるものだけに交換してください。
製造者の示すとおりに廃棄してください。

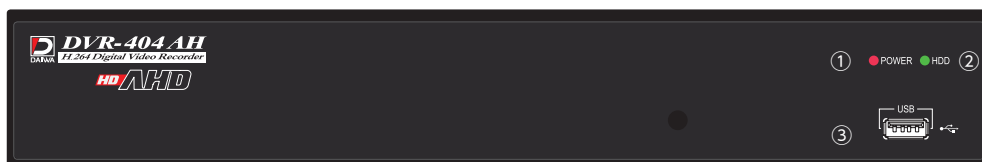
目 次

1. 主な特長

■ ビデオ入力はすべて自動で認識されます。（NTSC / AHD 720p）/ BNC ポートペア設定
■ H.264 動画圧縮

■ 高信頼性ファイルシステム

■ HDMI & VGA 出力
■ 4 チャンネル音声録音

■ チャンネル別独立設定
■ 動体検出
■ ビデオ入力 / ビデオロス自動検出
■ 隠しカメラ制御によるセキュリティーの強化
■ PTZ カメラ制御機能内蔵
■ 簡単でシンプルな操作画面
■ 簡単なスケジュール設定
■ 簡単なソフトウェアアップデート
■ USB メモリやネットワークによる簡単で便利なバックアップ
■ 特別なフォーマットによるバックアップ
■ AVI 形式でのバックアップ
■ クライアントソフト / Web ビューワー / CMS / UMS / 携帯端末によるさまざまなアクセス方法
（ネットワーククライアントの接続は 4 ユーザーまでとなります。）

■ 無料 Dynamic DNS
- 固定 IP アドレスを用意できない環境においても、本無料 Dynamic DNS に登録すれば、インターネット経由で遠隔監視を行うことができます。

> ※ 無料 Dynamic DNS は予告無くサービスを停止、終了する場合があります。
> 信頼性の高い運用が要求される環境では、固定グローバル IP アドレスの取得を推奨します。

2. 各部の機能と接続

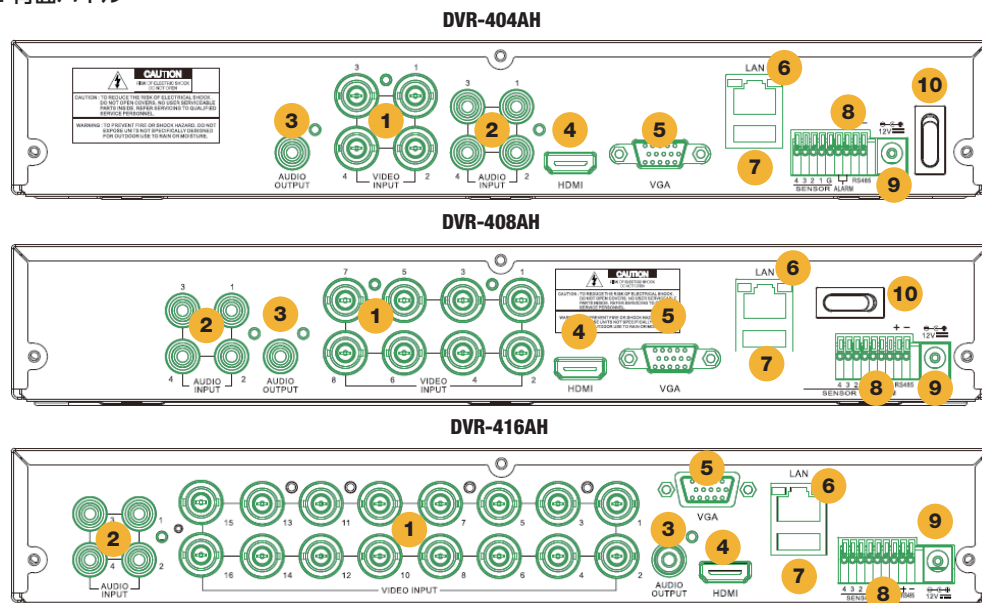
2-1. 前面パネル

前面パネル

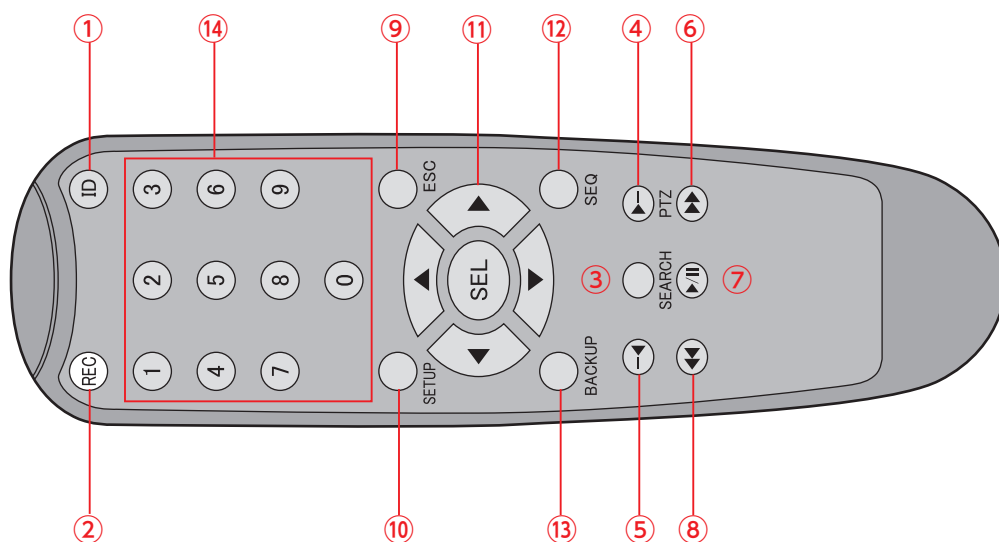
① POWER : 電源が ON 状態で点灯します。
② HDD : ハードディスクにアクセス中に点灯します。
③ USB : 操作用のマウス、あるいは USB メモリを接続します。
静止画 / 動画データを USB メモリに保存したり、USB メモリに保存された最新のファームウェアにアップデートできます。

2-2. 背面パネル

DVR-404AH

DVR-408AH

DVR-416AH

NO	端子名	接続
1	VIDEO IN	映像入力端子（960H & アナログ HD）
2	AUDIO IN	音声入力端子
3	AUDIO OUT	音声出力端子
4	HDMI OUT	HDMI 映像出力端子
5	VGA OUT	VGA 映像出力端子
6	ETHERNET	RJ-45 ネットワーク端子（LAN）
7	USB Port	USB 端子
8	SENSOR IN	センサー入力端子（4 本）
	ALARM OUT	アラーム出力端子（1 本）
		リレー On/Off 用出力端子（0.5A/125V AC, 1A/30V DC）
	RS-485	RS-485 コントロール端子 (+, -)
9	POWER SOCKET	電源アダプタ入力端子（DC 12V 2A）
10	POWER SWITCH	電源 On/Off スイッチ

2-3. リモコン

リモコンボタン

① ID : リモコン制御 ID 入力
② REC : 手動録画、スタート / ストップ
③ SEARCH: 検索画面表示
④ F/ADV:
- 再生時 : 1 分後の映像にジャンプ
- 停止時 : 1 フレーム先にコマ送り

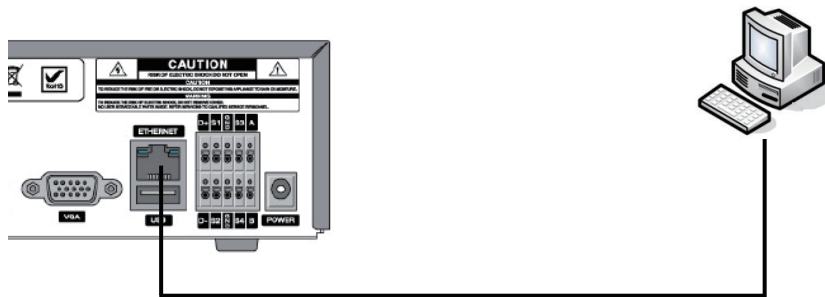
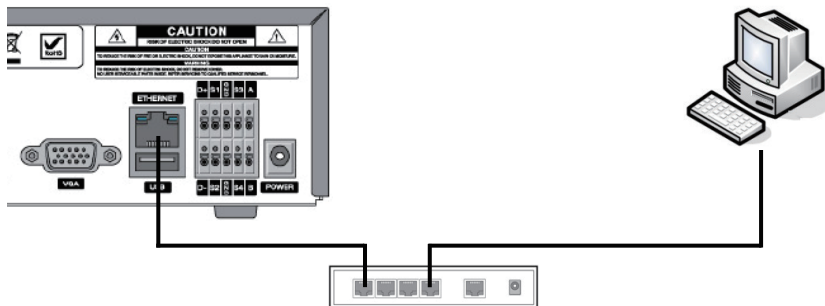
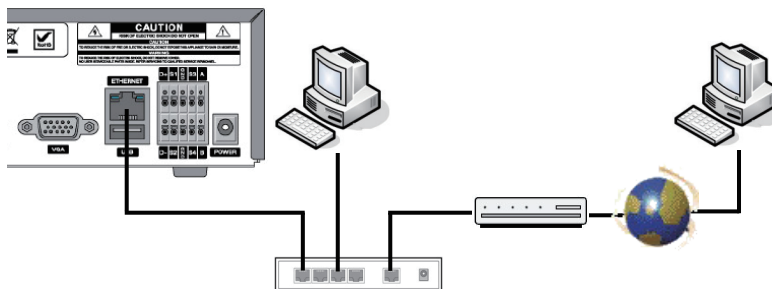
⑤ F/REW :
- 再生時 : 1 分前の映像にジャンプ
- 停止時 : 1 フレーム前にコマ戻し

⑥ FF: 早送り
⑦ PLAY/PAUSE : 再生 / 停止
⑧ REW : 早戻し
⑨ ESC :
- 設定時 : 前画面に戻る
- 再生時 : 再生モードを終了する
- システムロック : 5 秒間押し続けるとシステムロック
- システムロック解除 : 5 秒間押し続けるとシステムロック解除

⑩ SETUP : 設定画面表示
⑪ Direction buttons : メニュー項目移動、チャンネル選択
⑫ SEQ : 全画面モード時、画面自動切り替え
⑬ BACKUP : ライブモード / 再生モードでバックアップ開始
⑭ 0~9 : チャンネル選択、番号入力

2-4. ネットワーク接続

LAN 接続

LAN ケーブルで DVR とパソコンを直接接続します。

LAN 接続―スイッチングハブを使用。

インターネット接続―ルータを使用。

2-5. センサーおよびアラームの接続

--- : 反応しません。

N/O : Normally open type sensor. 通常はオープン状態で、クローズしたら反応します。

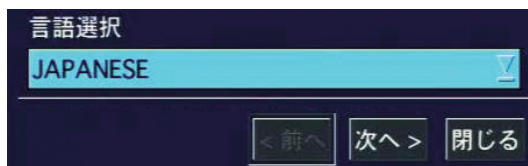
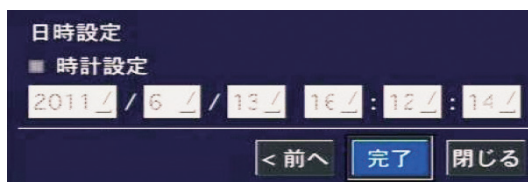
N/C : Normally closed type sensor. 通常はクローズ状態で、オープンしたら反応します。

3. 設定のしかた

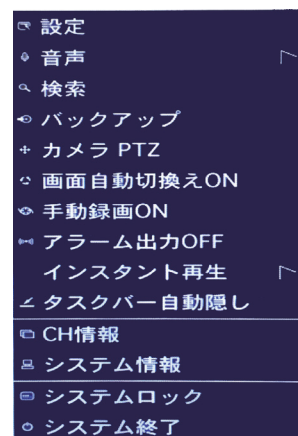
3-1. 設定メニューの基本操作

3-1-1. 使用者モードに入る前に

① DVR 背面の映像入力端子にカメラを、電源入力端子に AC アダプタを接続する。
電源コードをコンセントに差し込み、DVR 背面の電源スイッチを ON にすると DVR が起動する。
(DVR-416AH は電源スイッチが有りません。電源コードを差し込むと起動します。)

② 通電すると、前面パネルの POWER ランプが点灯し、システムの初期化が開始されます。
初期化が完了して DVR が起動すると、最初に言語選択の画面が表示されます。
「JAPANESE」を選択し、「次へ >」をクリックします。

③ 現在時刻を確認します。
現在時刻を変更したい場合は、「時刻設定」のチェックボックスにチェックを入れてください。
現在時刻が年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒で設定できるようになります。
時刻の設定が完了すると、「完了」をクリックします。

④ 接続されているカメラのライブ映像が分割画面で表示され、使用者が操作できる状態になります。

3-1-2. 設定メニューに入るには

⑤ 設定画面に入るには、以下のいずれかの操作を行います。
・前面パネルかリモコンの「SETUP」ボタンを押す。
・ライブ画面下部のタスクバーで アイコンをクリックする。
・ライブ画面上でマウスを右クリックしポップアップメニューの「設定」をクリックする。

⑥ ログイン画面が表示されたらユーザーを選択しパスワードを入力します。
ボタンをクリックすると文字表が表示されます。選択したユーザーに合うパスワードを入力してください。
リモコンの番号ボタンでも入力できます。
パスワードを入力し、「ENTER」をクリックすると、設定画面が表示されます。

※ 工場出荷時のパスワードの初期値は「1111」です。システム保護の為にパスワードを変更することをお勧めします。

各ユーザーのパスワードは、設定メニューの「セキュリティー」メニューで設定できます。

3-1-3. 設定メニューを操作するには

● マウスの操作：

左ボタンをクリックする	カーソルが位置している項目を選択します。
右ボタンをクリックする	(一部のメニューで) 前画面に戻ります。 ライブモードではポップアップメニューを表示します。

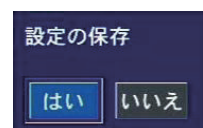
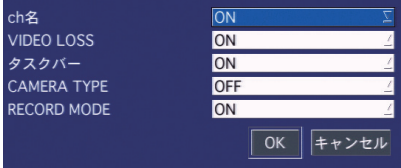
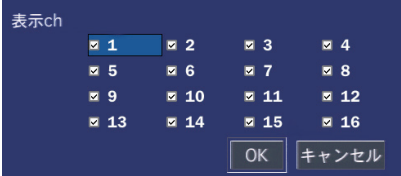
● 前面パネルのボタン・リモコンの操作：

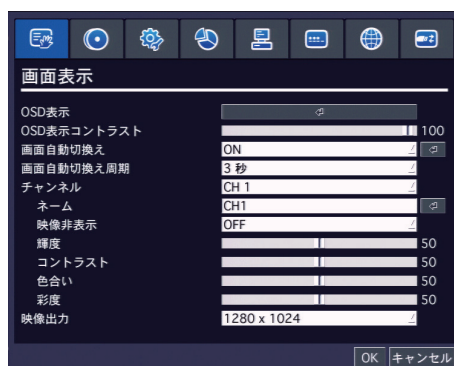
▼ボタンを押す	1 つ次の設定項目に移動します。
▲ボタンを押す	1 つ前の設定項目に移動します。
◀ ▶ボタンを押す	設定項目の設定値や選択肢を変更します。
「SEL」ボタンを押す	ボタンを選択します。
「ESC」ボタンを押す	前画面に戻ります。

● 項目の設定：

	「SEL」ボタンやマウスクリックで選択すると、ドロップダウンで選択肢が表示されます。
	コントロールボタン (◀ ▶) やマウスのドラック＆ドロップで、設定値が変更できます。
	選択すると、文字入力表やサブメニューの画面が表示されます。

3-1-4. 設定を保存するには

① 設定が完了し、設定メニュー画面を閉じるために「OK」ボタンを押すと、
右のような設定保存の画面が表示されます。
② 「はい」を選択すると変更した設定内容が保存されます。
③ 「いいえ」を選択すると変更した設定内容が無効化されます。
※ 設定完了後、設定メニュー画面の右下の「Cancel」ボタンを押すと、変更した設定内容が無効化されます。

3-1-5. 設定メニューの構成

3-2. 画面表示設定

ライブ画面の表示に関する設定を行います。

画面表示メニューの項目

項目	説明
OSD 表示	OSD 表示の項目について ON/OFF の選択をします。 OFF を選択するとチャンネル名やビデオロス等の情報が表示されません。 ch名 ON VIDEO LOSS ON タスクバー ON CAMERA TYPE OFF RECORD MODE ON OK キャンセル
OSD 表示コントラスト	画面に表示されるウィンドウや文字のコントラストを調整します。 (設定範囲：50 ～ 100%)
画面自動切換え	フル画面モード時の画面自動切換えを設定します。(選択肢：ON/OFF) 表示ch 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 OK キャンセル
画面自動切換え周期	画面自動切換えの周期を設定します。(設定範囲：3 ～ 60 秒)
チャンネル	表示設定を変更したいチャンネルを選択します。(選択肢：CH1 ～チャンネル数) ネーム～彩度の各項目についてチャンネルごとに設定できます。
ネーム	チャンネル名を設定します。 ボタンを押すと、文字入力表が表示され、変更したいチャンネル名を入力できます。 10 文字まで入力できます。
映像非表示	ライブ映像を非表示とします。(選択肢：ON / OFF)
輝度	映像の明るさを調節します。(設定範囲：0 ～ 100)
コントラスト	画像の暗い部分と明るい部分を最適調節します。(設定範囲：0 ～ 100)
色合い	画像の暗い部分と明るい部分を最適調節します。(設定範囲：0 ～ 100)
彩度	画像の彩度を調節します。(設定範囲：0 ～ 100)
映像出力	映像出力の解像度を選択します。 (選択肢：1280x720, 1920x1080, 1208x1024, 1024x768)

3-3. 録画設定

録画に関する設定を行います。

画面表示メニューの項目

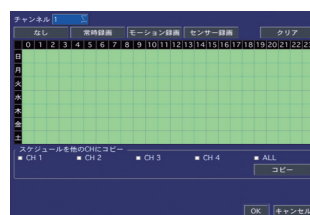
<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>チャンネル</td><td>録画設定 (解像度、録画フレーム、画質、録画モード、イベント前記録、イベント後記録、音声) を変更するチャンネルを選択します。(選択肢 : CH1 〜チャンネル数)
⏎ ボタンを押すと、「全 CH 設定 - 録画」 画面が表示され、すべてのチャンネルの設定項目を一覧で見ることができます。
<table>
<tr><th></th><th>RESOLUTION</th><th>FRAME RATE</th><th>画質</th><th>録画モード</th><th>イベント前記録</th><th>イベント後記録</th><th>音声</th></tr>
<tr><td>ALL</td><td>CIF</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>常時録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>ON</td></tr>
<tr><td>1</td><td>CIF</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>常時録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>ON</td></tr>
<tr><td>2</td><td>CIF</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>モーション録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>ON</td></tr>
<tr><td>3</td><td>960H</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>常時録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>ON</td></tr>
<tr><td>4</td><td>960H</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>モーション録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>ON</td></tr>
<tr><td>5</td><td>960H</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>常時録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>--</td></tr>
<tr><td>6</td><td>960H</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>常時録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>--</td></tr>
<tr><td>7</td><td>960H</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>常時録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>--</td></tr>
<tr><td>8</td><td>960H</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>常時録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>--</td></tr>
<tr><td>9</td><td>960H</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>モーション録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>--</td></tr>
<tr><td>10</td><td>960H</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>常時録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>--</td></tr>
<tr><td>11</td><td>960H</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>モーション録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>--</td></tr>
<tr><td>12</td><td>960H</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>常時録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>--</td></tr>
<tr><td>13</td><td>960H</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>常時録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>--</td></tr>
<tr><td>14</td><td>960H</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>モーション録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>--</td></tr>
<tr><td>15</td><td>960H</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>常時録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>--</td></tr>
<tr><td>16</td><td>960H</td><td>15 FPS</td><td>最高画質</td><td>モーション録画</td><td>15 秒</td><td>15 秒</td><td>--</td></tr>
</table>
OK　キャンセル
●チャンネルは 2 チャンネル毎にペアとなります。
(例 : CH1, CH2 ペア / CH3, CH4 ペア)
●ペアとなるチャンネルは同じタイプのカメラを接続してください。
(正しい例 : CH1 : AHD CAM / CH2 : AHD CAM)
(誤った例 : CH1 : AHD CAM / CH2 : 960H CAM)</td></tr>
<tr><td>解像度</td><td>録画の解像度を設定します。(選択肢 : 1280x720, 640x360 あるいは 960H, D1, CIF)</td></tr>
<tr><td>録画フレーム</td><td>録画のフレームレートを設定します。(設定範囲 : 1 〜 30FPS)</td></tr>
<tr><td>画質</td><td>録画画質を選択します。(選択肢:ネットワーク画質 / 標準画質 / 中画質 / 高画質 / 最高画質)</td></tr>
<tr><td>録画モード</td><td>録画モードを選択します。
(選択肢 : 常時録画 / モーション録画 / センサー録画 / スケジュール録画 / 録画しない)
※ 各モードの詳しい説明は「3-3-1. 録画モードの種類」を参照ください。</td></tr>
<tr><td>センサー録画</td><td>4 種のセンサーから 1 種を選択します。</td></tr>
<tr><td>イベント前記録</td><td>モーション録画やセンサー録画設定の場合、モーション検知や外部センサー入力などのイベントが発生する前の映像をハードディスクに保存することができます。イベント発生前のどれ位の間の映像を保存するかを選択します。(選択肢 : OFF/15 秒 /30 秒 /1 分 /3 分 /20 分)</td></tr>
<tr><td>イベント後記録</td><td>モーション検知やセンサー検出後からの録画時間を指定します。(設定範囲:10 〜 30 秒 /60 秒)</td></tr>
<tr><td>音声</td><td>ライブ映像の音声を記録するかを設定します。(選択肢 : ON/OFF)</td></tr>
<tr><td>スケジュール</td><td>1 週間単位のスケジュール設定によって、指定された曜日や時刻に録画モードが自動的に変更されます。
⏎ ボタンを押すと、スケジュール画面が表示され、1 週間単位の録画スケジュールが設定できます。
※ 詳細は「3-3-2. スケジュール設定」をご参照ください。</td></tr>
</table>

3-3-1. 録画モードの種類

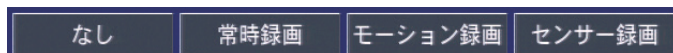
録画する条件を 6 つの録画モードから選択できます。

- **常時録画**：DVR の電源が ON になっている間は常時録画を行います。
- **モーション録画**：DVR 内蔵のモーションセンサーが反応すると録画を行います。
- **センサー録画**：DVR の外部センサー入力端子 (S1 ～ S4) に接続されたセンサー機器などが反応すると録画を行います。
- **スケジュール録画**：録画設定メニューの「スケジュール」項目で設定されたスケジュール通りに録画を行います。
- **録画しない**：録画を行いません。
- **手動録画**：DVR のフロントパネルかリモコンの「REC」ボタンを押すかマウスでタスクバーやポップアップメニューから「手動録画」をクリックすると、各チャンネルの録画モードを無視し、リアルタイムで録画を開始します。手動録画モードを解除する時は、「REC」ボタンをもう一度押してください。

3-3-2. スケジュール設定

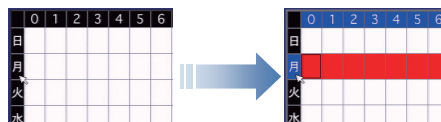
① 録画設定メニューで「スケジュール」項目に移動し、「SEL」ボタンを押すとスケジュール設定画面が表示されます。

② 「チャンネル」項目に、スケジュールを設定したいチャンネルを指定します。(選択肢：1 ～ 4)

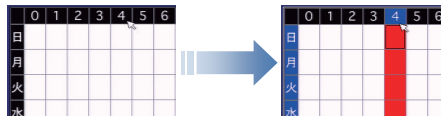
③ 下のボタンから録画モードを選択します。

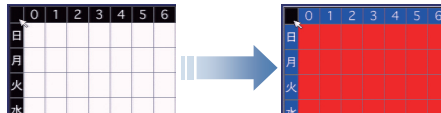
なし　常時録画　モーション録画　センサー録画

④ スケジュール表のマス目をクリック、あるいはドラックすると、選択中の録画モードが設定されます。
各録画モードごとに、マス目に表示される色が違います。

色	録画モード
緑	常時録画
赤	センサー録画
黄色	モーション録画
白 (色なし)	録画しない

●1 日中同じ設定にしたい場合は、縦軸の曜日ボタンをクリックします。

例)
「月」をクリックすると、月曜日の 24 時間が選択した録画モードに設定されます。

●毎日指定した時間だけを同じ設定にしたい場合は、横軸の数字をクリックします。

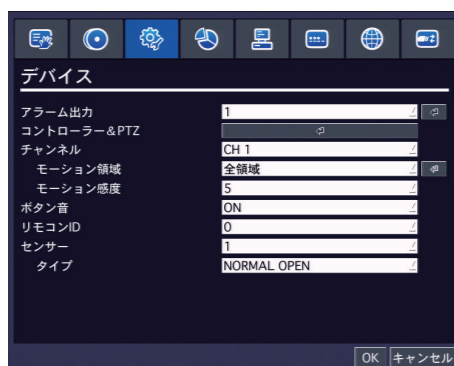
例)
「4」をクリックすると、毎日の 04:00 ～ 05:00 の間の時間が選択した録画モードに設定されます

●毎日同じ設定にしたい場合は、縦軸と横軸が接する部分のマス目をクリックします。

例)
■をクリックすると、毎日の全時間帯が選択した録画モードに設定されます。

● クリア ボタンをクリックすると、スケジュール表の録画モード設定が全部消え、初期化されます。

⑤ 「OK」をクリックすると、録画モードが「スケジュール」になっているチャンネルの録画モードが設定したスケジュール通りに変更されます

※ 設定したスケジュールを他のチャンネルにコピーしたい場合
「スケジュールを他の CH にコピー」の項目で、スケジュールを上書きしたいチャンネルのチェックボックスにチェックを入れ、 コピー ボタンをクリックすると、スケジュール表の設定が選択チャンネルに適用されます。

3-4. デバイス設定

センサーや PTZ カメラなどの外部装置に関する設定を行います。

デバイスメニューの項目

項目	説明
アラーム出力	アラーム出力は 1 出力のみ使用できます。 [ボタン] ボタンを押すと表示されるアラーム出力画面で、外部センサー、モーション検知、VIDEO LOSS などによるアラーム出力を設定します。 ※ 詳細は「3-4-1. アラーム出力設定」をご参照ください。
コントローラー& PTZ	[ボタン] ボタンを押すと表示されるコントローラー &PTZ 画面で、コントローラーや PTZ カメラの接続設定を行います。 ※ 詳細は「3-4-2. コントローラー &PTZ 設定」をご参照ください。
チャンネル	モーション領域を設定するチャンネルを指定します。(選択肢 : CH1 ～ CH 数)
モーション領域	モーション検出の領域を指定します。(選択肢 : 全領域 / 検出枠) 検出枠を選び、[ボタン] ボタンを押すと表示される検出枠設定画面でモーションを検出する領域を設定します。 ※ 詳細は「3-4-3. モーション検出領域設定」をご参照ください。
モーション感度	モーション検出の感度を選択します。(選択肢 : 1 ～ 9) 数字が高くなるほど敏感になります。
ボタン音	本機のパネルのボタンまたはリモコンのボタンを押す時、音を出力するかどうかを選択します。 (選択肢 : ON/OFF)
リモコン ID	リモコンの ID を設定します。(選択肢 : 0 ～ 99) 0 に設定するとライブ画面の右下に R:ALL のアイコンが表示され、 シリーズ機器のどのリモコンでも本機を操作できます。 ※ 詳細は「3-4-4. リモコン ID の設定」をご参照ください。
センサー	センサータイプを設定するセンサー番号を指定します。(選択肢 : 1 ～ 4)
タイプ	指定した番号のセンサータイプを選択します。 (選択肢 : OFF / NORMAL OPEN / NORMAL CLOSE)

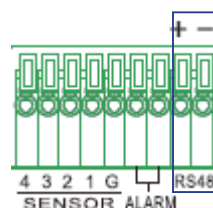
3-4-1. アラーム出力設定

維持時間を設定します。(選択肢 : 5 ～ 60 秒 / 無限)
出力タイプを設定します。(選択肢 : NO/NC)

3-4-2. コントローラー& PTZ 設定

コントローラーや PTZ 機能の操作のため、まずコントローラーや PTZ カメラの接続と設定が必要です。

① コントローラーや PTZ カメラの RS-485 ケーブルを後面パネルの RS-485 ポート（D+、D−）に接続します。
カテゴリー 5 相当のケーブルをご使用ください。

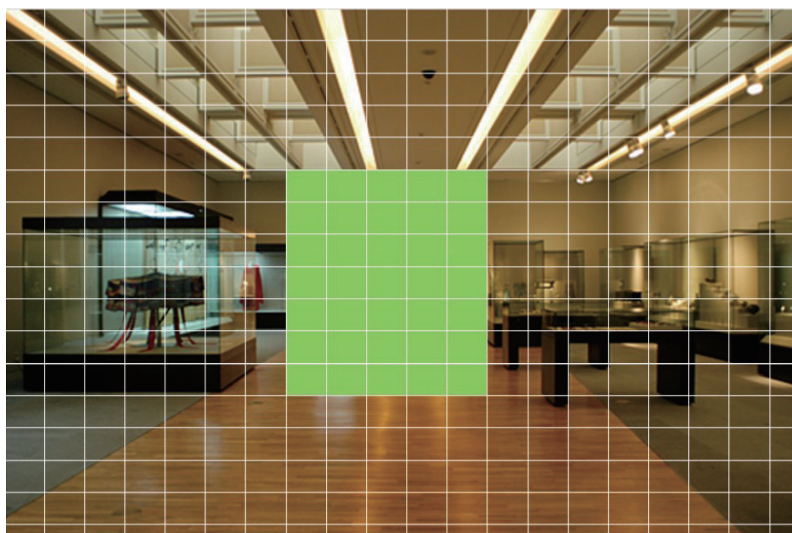
メモ : RS-485 対応のスピードドームカメラを RS-485 端子に接続してください。
カメラが RS-232C からコントロールされている場合は、
RS-485 → RS-232C シグナルコンバーターをご使用ください。

② ボタンを押すと表示されるコントローラー &PTZ 画面が表示されます。

(図 A)

コントローラー& PTZ メニューの設定

項目	説明
コントローラー	接続しているコントローラーのタイプを選択します。
スピード	コントローラーとの通信速度を設定します。 (選択肢 : 2400/4800/9600/14400/19200)
ID	接続しているコントローラーの ID を設定します。 (選択肢 : 0 ～ 63)
チャンネル	下位項目 (カメラ、スピード、ID) を設定するチャンネルを指定します。(図 A)
カメラ	接続している PTZ カメラのプロトコルタイプを選択します。
スピード	PTZ カメラとの通信速度を設定します。 (選択肢 : 2400/4800/9600/14400/19200)
ID	接続しているカメラの ID を設定します。 (選択肢 : 0 ～ 63)

※ 詳しい操作方法はご使用のコントローラーや PTZ カメラの取扱説明書をご参照ください。

3-4-3. モーション検出領域設定

検出枠設定画面

① デバイス設定画面のモーション領域項目で「検出枠」を選び、⏎ ボタンを押すとモーション検出枠の設定画面が表示されます。
② コントロールボタン（▲▼◀▶）もしくはマウスでモーションを検知する箇所にカーソルを移動させ、「SEL」ボタンを押すか、マウスの左ボタンをクリックするとモーション検出領域に設定されます。
マウスの左ボタンをクリックしたままドラッグさせると一度に選択できます。
モーション検出領域に指定された枠は緑色に塗りつぶされます。
③ 繰り返し操作で、モーションを検知する範囲を選択してください。
④ 設定が終了したら、「ESC」ボタンを押すか、マウスの右ボタンをクリックしてデバイス設定メニューに戻ります。

3-4-4. リモコン ID の設定

① デバイス設定メニューの「リモコン ID」項目でリモコン ID を設定します。0 ～ 99 の数字で設定できます。0 に設定するとライブ画面の右下に R:ALL のアイコンが表示され、どのリモコンでも本機を操作できます。
② 「ESC」ボタン繰り返し押してライブ画面に戻ります。リモコン ID を 0 以外の数字に設定した場合、ライブ画面の右下の R:ALL のアイコンが消え、ID が設定されてないリモコンでは操作できなくなります。
③ リモコンの「ID」ボタンを押し、本機に設定した ID と同じ 2 桁の数字ボタンを押します。リモコンに ID が設定されます。
④ 本機とリモコンに設定した ID が一致すると、本機が操作できるようになります。

3-5. 録画装置設定

ハードディスクに関する設定を行います。

録画装置メニューの項目

項目	説明
上書き	ハードディスクの容量がいっぱいになったとき、古い映像を削除し、そこに上書きして録画をつづけるための設定です。(選択肢 : ON/OFF) ※ 上書きが ON に設定されている場合、必要な映像はあらかじめ外部メモリなどにバックアップしてください。 ※ 上書きが OFF に設定されている場合、ハードディスクの容量がいっぱいになると録画を停止します。
HDD フォーマット ⚠	内蔵のハードディスクを初期化します。 ボタンを押すと、フォーマット画面が表示されます。「はい」を選択するとフォーマットを行い、DVR が再起動します。すべての記録が失われます。フォーマットをおこなう前に、必要な映像はあらかじめ外部メモリなどにバックアップしてください。
HDD 情報	ボタンを押すと、搭載されているハードディスクの総容量と残容量、HDD の録画開始時刻と最終録画時刻、温度や通電時間などが確認できます。
記録保存日数制限	ON : 日数制限を超えたデータは上書き設定にかかわらず削除されます。 OFF : 上書き設定が OFF の場合はディスクフルになると録画を停止します。
記録保存日数	「録画制限」設定が ON の場合、録画記録を保存する日数を設定します。 (設定範囲 : 1 ～ 90 日) ハードディスクには設定した日数だけのデータを残し、それ以上のデータは古い順番で削除されます。

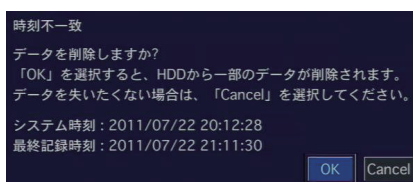
3-6. システム設定

DVR のシステムを管理するための設定や、システム情報の確認ができます。

システムメニューの項目

項目	説明
DVR ID	本機を複数接続するときは、各機器に固有の名前を付けることができます。 ボタンを押し、文字表で DVR ID を入力します。
システム情報	ボタンを押すと表示されるシステム情報画面からモデル名、ソフトウェアのバージョン、HDD 容量、IP アドレス、MAC アドレス、DDNS ステータスが確認できます。
言語	表示言語を指定します。
日付の形式	日付表示形式を選択します。 ● 適用例：2000 年 12 月 25 日の場合、 YYYY-MM-DD：2000-12-25　MM-DD-YYYY：12-25-2000 DD-MM-YYYY：25-12-2000　YYYY/MM/DD：2000/12/25 MM/DD/YYYY：12/25/2000　DD/MM/YYYY：25/12/2000
日時設定	ボタンを押すと日時設定画面が表示されます。
⚠	時間表示形式　24-HOUR FORMAT 時間帯　GMT +9:00 (Seoul/Tokyo) サマータイム　OFF ■ 日時設定　2015 / 3 / 23　14 : 22 : 19 OK　キャンセル ・時間表示形式：24 時間表示か 12 時間表示のどちらかを選択します。 ・時間帯：地域を選択します。GMT+9:00（Seoul/Tokyo）を選択してください。 ・サマータイム：(選択肢：OFF/ 北米 / 欧州 / その他) ※サマータイムを使用しない日本地域の場合は「OFF」に設定してください。 ・日時設定 ①「日時設定」項目のチェックボックスにチェックを入れると、システムの現在時刻が変更できるようになります。 ②年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒を設定し、「OK」ボタンを押します。 ③変更日時を適用するかを確認する画面が表示されます。「はい」を選択します。 ④設定の保存画面で「はい」を選択すると、DVR が再起動し、変更した日時が適用されています。 従来の時刻より前の時刻に変更した場合、「時刻不一致」が発生することがあります。 ※ 詳細は「3-6-1. 時刻不一致が発生した場合は」をご参照ください。
クライアントアクセス	ネットワークを通じて、外部の PC から DVR へ接続することを許可するか、しないかを設定します。(選択肢：ON/OFF)
NTP	インターネットまたは LAN 上の NTP サーバーを使って時刻合わせを行うための設定です。(選択肢：ON/OFF) ON を選択し、 ボタンを押すと、NTP の設定ができます。 ※ 詳細は「3-6-2. NTP 設定」をご参照ください。
メール送信	DVR からメールを送信する機能です。(選択肢：ON/OFF) ON を選択し、 ボタンを押すと、メール送信の設定ができます。 ※ 詳細は「3-6-3. メール送信設定」をご参照ください。
SYSTEM RESTART	システムを再起動します。（選択肢：はい / いいえ）
システムイベント通知	イベント発生時の DVR アラーム、ブザー及びメール送信に関する設定を行います。 ボタンを押すとイベント通知設定画面が表示されます。 メール送信を使用時は、「メール送信」を ON にし詳細を設定する必要があります。 ※ 詳細は「3-6-4. システムイベント通知設定」をご参照ください。

3-6-1. 時刻不一致が発生した場合は

日時設定メニューから日時を更新してリブートした時、新しい時刻が最終録画時刻より前の時刻であると、「時刻不一致」が発生します。システムの現在時刻より未来の記録が存在することはシステム的に成立できませんので、現在時刻と最終録画時刻の間にあるデータは消去することになります。

① 日時を変更してシステムが再起動した時、変更した新しい日時より以前の時刻の録画データが存在すると「時刻不一致」のメッセージが表示されます。
② 新しい日時をそのまま適用してデータを削除するか、日時設定を変更前の状態に戻すかを選択します。
③ 選択肢から「OK」を選択すると、システムの日時を設定した通りに更新し、その日時より後のデータはハードディスクから消去します。
④ 選択肢から「Cancel」を選択すると、日時設定を変更する前の日時に戻ります。

3-6-2. NTP 設定

ネットワーク上の NTP サーバーに接続し、DVR の時計を標準時刻に同期することができます。

項目	説明
NTP サーバーアドレス 1	同期をあわせるために接続する NTP サーバーを指定します。 ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。
NTP サーバーアドレス 2	NTPサーバーアドレス1が接続できなくなった場合に、接続するNTPサーバーを指定します。 ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。
時間帯	使用地域のグリニッジ標準時を選択します。(設定範囲：GMT-12:00 ～ +13:00) 日本国内では、「GMT+9:00」を選択してください。
接続モード	NTP 同期合わせを行う時点を選択します。(選択肢 : 周期指定 / 時刻指定 / 一回) 「周期指定」は、数時間ごとに 1 回、NTP 同期合わせを行います。 「時刻指定」は、毎日指定した時刻に NTP 同期合わせを行います。 「一回」は、この選択しを選択して設定メニューから抜けた時点に 1 回のみ、NTP 同期合わせを行います。
接続周期・時刻	同期する時間あるいは時刻を設定します。(設定範囲：1 ～ 24) ● 接続モードが「時刻指定」の場合： 設定範囲は 01:00AM ～ 24:00AM です。毎日設定した時刻に NTP 時刻合わせを行います。 ● 接続モードが「周期指定」の場合： 設定範囲は 1 時間ごと～ 24 時間ごとです。例えば、「8 時間ごと」に設定したら、8 時間ごとに NTP 時刻合わせを行います。

※ NTP 接続による時刻補正について

1. NTP 標準時刻より DVR 時刻が進んでいる場合。
   1-1. 60 秒以上 : 補正しません。
   1-2. 60 秒未満 : 補正します。（補正した時間は、録画が止まります。）
2. NTP 標準時刻より DVR 時刻が遅れている場合。
   2-1. 「時桁」が変わる場合 : 補正し再起動します。(例　1 時 30 分→ 2 時 15 分)
   2-2. 「時桁」が変わらない場合 : 補正します。再起動はしません。　(例　1 時 15 分→ 1 時 50 分)
3. NTP 標準時刻が下記の時間内の場合はNTPによる時刻補正を行わず、毎時10分以降に時刻補正します。
   「毎時 55 分～毎時 59 分」「毎時 00 分～毎時 10 分」。

※　NTP 接続時の注意点

1. 初めて DVR および NTP を導入する場合には、DVR 時刻を「日時設定」で 1 時間遅らせた後で、NTP を接続してください。
2. 既に DVR を運用している場合には、現時刻から 1 時間前の録画データが消去されても問題無いかどうか確認した後に、DVR 時刻を「日時設定」で 1 時間遅らせてください。その後に NTP を接続してください。

3-6-3. メール送信設定

DVR からメールを送信するための設定を行います。

メール送信メニューの設定

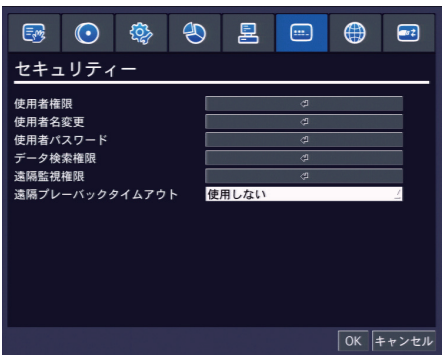
項目	説明
サーバータイプ	同メールサーバーのタイプを選択します。 (選択肢：マニュアル /GMAIL/HOTMAIL/AOL/YAHOO)
メールサーバー名	サーバータイプで「マニュアル」選択時にメールサーバーの名前を入力します。 「マニュアル」以外を選択時は、自動的に入力され変更不要です。
メールポート	サーバータイプで「マニュアル」選択時にメール伝送時のポート番号を指定します。 ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、ポート番号を入力します。 「マニュアル」以外を選択時は、自動的に入力され変更不要です。
セキュリティー設定	サーバータイプで「マニュアル」選択時に、セキュリティーのため、暗号化された送信を対応するメールサーバーを使用する場合、プロトコルを選択します。 (選択肢：なし /SSL/TLS) 「マニュアル」以外を選択時は、自動的に入力され変更不要です。
ID	メールサーバーに接続するユーザーの ID を設定します。 ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、ID を入力します。
パスワード	メールサーバーに接続するユーザーのパスワードを設定します。ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、パスワードを入力します。
メールアドレス	メールの送信先を指定します。ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、送信先のメールアドレスを入力します。
送信元メールアドレス	メールの送信元を指定します。ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、送信元のメールアドレスを入力します。

3-6-4. システムイベント通知設定

システムイベント通知の設定

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>機器状態チェック</td><td>チャンネル毎のカメラ信号入力状態、HDD で録画されているデータの期間及び HDD 情報をチェックします。期間でチェックする期間を設定します。
期間　毎日　第1　日　0 時　OK　キャンセル</td></tr>
<tr><td>HDD 温度</td><td>HDD 温度が設定値を超えていないか監視します。
(選択肢：40 ～ 80℃ 初期値 60℃)</td></tr>
<tr><td>HDD 不良セクタ率</td><td>HDD 不良セクタ率が設定値を超えていないか監視します。
(選択肢：0 ～ 50% 初期値 10%)</td></tr>
<tr><td>HDD 使用率</td><td>HDD 使用率が設定値を超えていないか監視します。
(選択肢：75 ～ 95% 初期値 90%)</td></tr>
<tr><td>イベント前記録
イベント後記録</td><td>メールで送られる映像のイベント前後の時間を設定します。
モーション検知とアラーム入力時に対応します。
(選択肢：1 ～ 5 秒)</td></tr>
<tr><td>イベント通知</td><td>
<table>
<tr><th>イベント通知</th><th>アラーム出力</th><th>ブザー</th><th>メール</th></tr>
<tr><td>機器状態チェック</td><td>設定不可</td><td>設定不可</td><td>ON/OFF</td></tr>
<tr><td>再起動</td><td>設定不可</td><td>設定不可</td><td>ON/OFF</td></tr>
<tr><td>システム終了</td><td>設定不可</td><td>設定不可</td><td>ON/OFF</td></tr>
<tr><td>手動録画</td><td>設定不可</td><td>設定不可</td><td>ON/OFF</td></tr>
<tr><td>センサー入力（※）</td><td>1/OFF</td><td>設定不可</td><td>OFF/テキスト/動画</td></tr>
<tr><td>モーション検知（※）</td><td>1/OFF</td><td>設定不可</td><td>OFF/テキスト/動画</td></tr>
<tr><td>ビデオロス</td><td>1/OFF</td><td>ON/OFF</td><td>ON/OFF</td></tr>
<tr><td>HDD 温度</td><td>1/OFF</td><td>ON/OFF</td><td>ON/OFF</td></tr>
<tr><td>HDD 不良セクタ率</td><td>設定不可</td><td>設定不可</td><td>ON/OFF</td></tr>
<tr><td>HDD 使用率</td><td>設定不可</td><td>設定不可</td><td>ON/OFF</td></tr>
<tr><td>HDD フル</td><td>設定不可</td><td>設定不可</td><td>ON/OFF</td></tr>
<tr><td>HDD エラー</td><td>1/OFF</td><td>ON/OFF</td><td>ON/OFF</td></tr>
</table>
※ センサー入力とモーション検知を有効にするには、録画モードをそれぞれ
センサー録画、モーション録画に設定する必要があります。</td></tr>
</table>

3-7. セキュリティー設定

セキュリティーのためのパスワードやアクセス権限などが設定できます。

セキュリティーメニューの項目

項目	説明
使用者権限	ボタンを押すと、使用者権限画面が表示され、各使用者が操作できるメニューの範囲を設定できます。 ※このメニューには、「管理者」権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※詳細は「3-7-1. 使用者権限設定」をご参照ください。
使用者名変更	ボタンを押すと、USER の名称を変更して設定することができます。 ※詳細は「3-7-2. 使用者名変更」をご参照ください。
使用者パスワード	ボタンを押すと、使用者パスワード画面が表示され、各使用者ごとにパスワードを設定できます。 ※詳細は「3-7-3. 使用者パスワード設定」をご参照ください。
データ検索権限	ボタンを押すと、データ検索権限画面が表示され、各使用者が検索できるチャンネルを設定できます。 ※このメニューには、「管理者」権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※詳細は「3-7-4. データ検索権限設定」をご参照ください。
遠隔監視権限	ボタンを押すと、データ表示権限画面が表示され、各使用者がモニタできる CH を選択することができます。 ※詳細は「3-7-5. 遠隔監視権限設定」をご参照ください。
遠隔プレーバック タイムアウト	遠隔操作で再生する際のタイムアウトの設定ができます。 (選択肢：OFF/5/10/15/30/60 分)

3-7-1. 使用者権限設定

使用者ごとに各メニューにアクセスできる権限を設定します。

使用者権限メニューの設定

項目	説明
① パスワード	各使用者の現在のパスワードを表示します。ダブルクリックすると、パスワード変更の画面が表示されます。
② パスワード確認	設定 / 検索 / PTZ / 手動録画終了 / ネットワークアクセスを操作する時、使用者のパスワードを確認するかを設定します。チェックをはずした項目は、パスワードを入力しなくても操作することができます。
③ アクセス権限	設定 / 検索 / PTZ / 手動録画終了 / ネットワークアクセスの操作について、各使用者のアクセス権限を設定します。チェックをはずされたユーザーは、該当項目の操作ができなくなります。

3-7-2. 使用者名変更

ユーザーで名前を変更する使用者を選択し、 ボタンを押すと、任意に使用者名を変更することができます。

3-7-3. 使用者パスワード設定

各ユーザーのパスワードが変更できます。

使用者パスワードの設定

項目	説明
ユーザー	パスワードを設定・変更したい使用者を選択します。 (選択肢 : 管理者 / ユーザー 1/ ユーザー 2/ ユーザー 3)
現在	ボタンを押すと文字表が表示されます。現在のパスワードを入力します。 ※ 各使用者のパスワードの工場出荷時の初期値は 1111 です。
新	ボタンを押すと文字表が表示されます。変更したいパスワードを入力します。
確認	ボタンを押すと文字表が表示されます。上記の「新」で入力したパスワードをもう一度入力します。

3-7-4. データ検索権限設定

各ユーザーが検索できるチャンネルが設定できます。

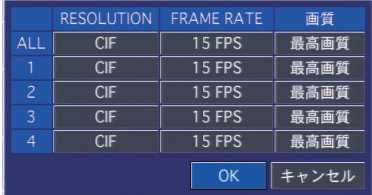
データ検索権限の設定

項目	説明
① ユーザー	検索権限が設定できるユーザーリストです。
② チャンネル	検索権限が設定できるチャンネルリストです。
③ チェックボックス	各ユーザーは、チェックがはずされたチャンネルの再生映像を見ることができません。

3-7-5. 遠隔監視権限設定

ユーザーで名前を変更する使用者を選択し、⏎ ボタンを押すと、任意に使用者名を変更することができます。

3-8. ネットワーク設定

ネットワークに接続するための設定を行います。

ネットワークメニューの項目

項目	説明
ポート番号	ボタンを押すと表示される数字表で、クライアントソフトなど、遠隔地から接続する時に使用するポート番号を入力します。デフォルトは 5445 です。
ネットワーク オーディオポート	クライアントソフトなど、遠隔地から接続する時に音声を伝送するためのポート番号です。この項目は、ポート番号に指定した番号の +1 の数字が自動的に設定されます。
WEB ポート	ボタンを押すと表示される数字表で、WEB クライアントや遠隔設定画面を表示するための WEB ブラウザー接続時に使用するポート番号を入力します。 デフォルトは 80 です。
ネットワークタイプ	接続するネットワークタイプを選択します。(選択肢：固定 /DHCP) ●固定：固定 IP を使用する場合、選択します。IP アドレスなどの下位項目を使用者が直接入力して設定します。ルータを使用している場合はこれを選択してください。 ● DHCP：固定ではない、動的 IP を使用する場合に選択します。
IP アドレス	ボタンを押すと表示される数字表で、DVR にの IP アドレスを入力します。 ネットワークタイプが DHCP の場合は、この項目が自動的に割り当てられますので、使用者が設定することはできません。
サブネットマスク	ボタンを押すと表示される数字表で、使用するネットワークのサブネットマスクを入力します。ネットワークタイプが DHCP の場合は、この項目が自動的に割り当てられますので、使用者が設定することはできません。
ゲートウェイ	ボタンを押すと表示される数字表で、使用するネットワークのゲートウェイを入力します。ネットワークタイプが DHCP の場合は、この項目が自動的に割り当てられますので、使用者が設定することはできません。
DNS (第 1)	ボタンを押すと表示される数字表で、DNS サーバーのアドレスを入力します。 ネットワークタイプが DHCP の場合は、この項目が自動的に割り当てられますので、使用者が設定することはできません。
DNS (第 2)	ボタンを押すと表示される数字表で、DNS サーバーのアドレスを入力します。 ネットワークタイプが DHCP の場合は、この項目が自動的に割り当てられますので、使用者が設定することはできません。
DDNS	ネットワークを通じて DVR にアクセスする時、IP アドレスではなくドメイン名で接続したい場合は、DDNS サーバーに登録し、DDNS サービスを利用することができます。(選択肢：OFF/ サーバー 1/ サーバー 2/ サーバー 3) サーバー 1、サーバー 2、サーバー 3 のいずれかを選択し、ボタンを押すと表示される DDNS サーバー設定画面で、使用する DDNS サーバーを設定します。 ※ 詳細は「3.8.1. DDNS サーバーの設定」をご参照ください。 Enable/disable using domain name address through DDNS server. **DDNS 1:** Select one type among the following three DDNS server. **DDNS 2:** Select this type when wants to use other general-purpose DDNS Server. **DDNS INTERVAL :** Set the connection interval (5-60minutes)
ネットワークストリーム	ボタンを押すとネットワークストリーム設定画面が表示されます。 ネットワークを通じて外部の PC へ伝送するデータのフレームレートや画質をチャンネルごとに設定します。 | | RESOLUTION | FRAME RATE | 画質 | | ALL | CIF | 15 FPS | 最高画質 | | 1 | CIF | 15 FPS | 最高画質 | | 2 | CIF | 15 FPS | 最高画質 | | 3 | CIF | 15 FPS | 最高画質 | | 4 | CIF | 15 FPS | 最高画質 | OK キャンセル

3-8-1. DDNS サーバーの設定

DDNS サーバーに登録したドメイン名で外部 PC からアクセスすることができます。

3-8-1-1. bestddns.com を利用する場合（通常はこのサーバを使用してください。）

「DDNS」項目に「サーバー 1」を選択し、 ボタンを押すと、DDNS 設定画面が表示されます。

DDNS サーバー 1 の設定

項目	説明
DDNS サーバー名	DDNS サーバー名を選択します。「bestddns.com」を選択してください。
DDNS 更新周期	DDNS サーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲：5 ～ 60 分)

3-8-1-2. その他の DDNS サーバーを利用する場合

「DDNS」項目に「サーバー 2」を選択し、 ボタンを押すと、DDNS 設定画面が表示されます。

DDNS サーバー 2 の設定

項目	説明
DDNS サーバー名	ボタンを押すと表示される文字表で、利用する DDNS サーバーのアドレスを入力します。
DDNS ID	ボタンを押すと表示される文字表で、DDNS サーバーに登録する ID を入力します。
DDNS パスワード	ボタンを押すと表示される文字表で、DDNS サーバーに登録するパスワードを入力します。
DDNS 更新周期	DDNS サーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲：5 ～ 60 分)

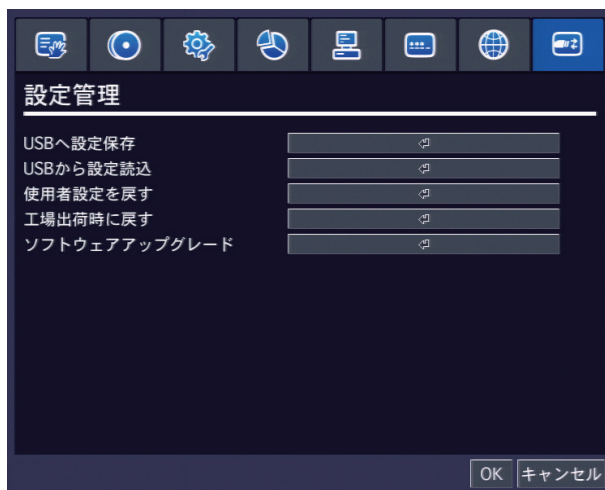
3-8-1-3. okddns.com を利用する場合

「DDNS」項目に「サーバー 3」を選択し、 ボタンを押すと、DDNS 設定画面が表示されます。
この ddns サーバは、WEB ブラウザからの登録等が不要です。

DDNS サーバー 3 の設定

項目	説明
DDNS ホストネーム	ボタンを押すと任意の DDNS ホスト名を設定することができます。 オート ボタンを押すと DVR の MAC アドレスがホストネームとして自動的に設定されます。
ホストドメインネーム	ホストドメイン名が表示されています。変更はできません。

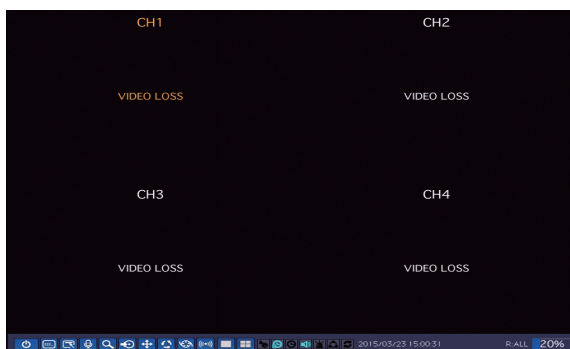
3-9. 設定管理

設定した内容の保存や初期化などができます。

設定管理メニューの項目

項目	説明
USB へ設定保存	DVR の現在の設定値を USB メモリに保存します。 USB メモリを DVR の USB 端子に接続し、この項目を選択すると、USB メモリの中に config フォルダーが生成され、DVR の設定値が CFG 形式で保存されます。
USB から設定読込	USB メモリに保存した設定値を DVR に呼び出します。 USB メモリを DVR の USB 端子に接続し、この項目を選択すると、USB メモリの中の config フォルダーに保存されている設定値を読取り、DVR の設定メニューに上書きします。
使用者設定を戻す	設定を初期化します。但し、言語・DVR の ID・使用者権限・使用者パスワード・日時の形式・DLS 設定・ネットワーク設定・HDD シリアル番号・HDD エラー記録の設定は維持されます。 ボタンを押すと表示される選択画面で「はい」を選択すると、DVR がリブートし、設定値が初期化されます。
工場出荷時に戻す	すべての設定を工場出荷時と同じく初期化します。 ボタンを押すと表示される選択画面で「はい」を選択すると、DVR がリブートし、設定値が初期化されます。
ソフトウェアアップグレード	この項目は、サービス専用です。この機能の操作は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

4. ライブ監視

4-1. ライブ画面の説明

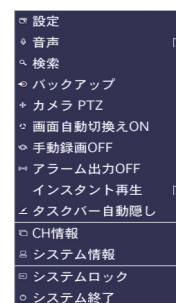
DVR が起動すると最初に表示される基本モードです。接続されているカメラのライブ映像が見られます。
画面の下端のタスクバー操作に必要なアイコンや、動作状態などが表示されます。

ライブ画面のタスクバーの表示アイコン

アイコン	説明
	システムを終了します。
	使用者の操作をロックします。クリックして管理者のパスワードを入力すると、マウスやリモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。 ロックの解除も同じ手順で行います。
	設定メニューに入ります。 ※設定メニューの説明は「3. 設定のしかた」をご参照ください。
	音声を出力するモードを選択します。クリックするごとにCH1音声出力→CH2音声出力→CH3音声出力→CH4音声同時出力→消音→CH1音声出力→…の順番で切換わります。
	検索メニューに入ります。 ※検索メニューの説明は「5. 検索と再生」をご参照ください。
	ライブ画像の静止画をUSBメモリにバックアップします。 バックアップの前に、USBメモリをDVRに装着してください。
	PTZカメラコントロールメニューに入ります。 ※PTZメニューの説明は「6. PTZカメラの操作」をご参照ください。
	画面自動切換え動作を開始 / 中止します。 この機能は、全チャンネル分割画面表示状態では動作しません。
	手動録画を開始 / 中止します。 手動録画を始めると、「録画」メニューで設定した録画モードは無視されます。
	アラーム出力機能をON/OFFにします。
	ライブ映像を1画面で表示します。クリックするごとに表示チャンネルが切換わります。 ※4/9/16画面表示状態で、1画面に表示したいチャンネルのライブ映像をダブルクリックすることで1画面表示することもできます。
	ライブ映像を4画面で表示します。クリックするごとに表示チャンネルが4つずつ変わります。 ※1画面表示状態で、ライブ映像をダブルクリックすることで、選択チャンネルを含めた4つのチャンネルを4画面表示することもできます。
	ライブ映像を9画面で表示します。クリックするごとに表示チャンネルが9つずつ変わります。 ※4画面表示状態で、ライブ映像をダブルクリックすることで、選択チャンネルを含めた9つのチャンネルを9画面表示することもできます。 ※このアイコンは、4chモデルでは表示されません。
	ライブ映像を16画面で表示します。 ※9画面表示状態で、ライブ映像をダブルクリックすることで、16画面表示することもできます。 ※このアイコンは、16chモデルのみ表示されます。
	使用者の操作がロック状態の時にハイライトされます。
	アラーム出力機能がONの時にハイライトされます。アラーム出力機能がOFFの時には、外部センサーから入力があってもアラーム出力が発生しません。
	アラーム出力中に表示します。
	音声出力状態を表示します。音声出力モードによって、消音 /1ch音声出力 /4ch音声同時出力のアイコンに切換ります。
	モーション検知、外部センサー入力、VIDEO LOSS発生時に表示します。
	ネットワーククライアントがDVRに接続している時に表示します。
	画面自動切換えが動作している時に表示します。
100%	NSF動画バックアップで大容量バックアップを選択した際に進捗状況を表示します。
2015/01/01 01:11:11	現在の日時を表示します。 ※現在の日時は「システム」メニューで設定できます。
R:ALL	現在操作中のリモコンのIDを表示します。例）リモコンのIDが35に設定してあると、R;35と表示されます。 リモコンIDが設定されていない場合はR:ALLを表示します。 ※リモコンIDは「デバイス」メニューで設定できます。
90%	ハードディスクの使用容量を0～99%で表示します。

映像表示部の表示アイコン

アイコン	説明
チャンネル名	各チャンネル映像の上部の中央に表示されます。 チャンネル名は、「画面表示」メニューで設定できます。
VIDEO LOSS	映像入力端子に入力信号がないチャンネルの中央に表示します。
C	常時録画中のチャンネル映像の右上に表示されます。
M	モーション録画中のチャンネル映像の右上に表示されます。
S	センサー録画中のチャンネル映像の右上に表示されます。
R	手動録画中のチャンネル映像右上に表示されます。
A	アラーム発生中のチャンネル映像右上に表示されます。

4.1.1. ポップアップメニュー

ライブ画面の上にカーソルを位置させ、マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

ポップアップメニューの項目

項目	説明
設定	設定メニューに入ります。 ※設定メニューの説明は「3. 設定のしかた」をご参照ください。
音声	音声を出力するチャンネルを選択します。クリックするごとに、CH1 音声出力→ CH2 音声出力→ CH3 音声出力→ CH4 音声同時出力→消音→ CH1 音声出力→…の順番で切換わります。
検索	検索メニューに入ります。 ※ 検索メニューの説明は「5. 検索と再生」をご参照ください。
バックアップ	ライブ画像の静止画を USB メモリにバックアップします。
カメラ PTZ	PTZ カメラコントロールメニューに入ります。 ※ PTZ メニューの説明は「6. PTZ カメラの操作」をご参照ください。
画面自動切換え	画面自動切換え動作を開始 / 中止します。 この機能は、1 画面表示状態で動作します。
手動録画	手動録画を開始 / 中止します。 手動録画を始めると、「録画」メニューで設定した録画モードは無視されます。
アラーム出力	アラーム出力機能を ON/OFF にします。
インスタント再生	10,20,30,60 秒前からの映像を再生できます。
タスクバー表示	タスクバーの自動隠し機能を ON/OFF にします。
CH 情報	選択チャンネルの録画設定情報を表示します。 ※録画設定については「3-3. 録画設定」をご参照ください。
システム情報	システムの情報を表示します。 ※ システム情報は「システム」メニューの「システム情報」からも確認できます。
システムロック	使用者の操作をロックします。クリックして管理者のパスワードを入力すると、マウスやリモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。 ロックの解除も同じ手順で行います。
システム終了	システムを終了します。

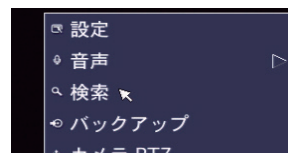
5. 検索と再生

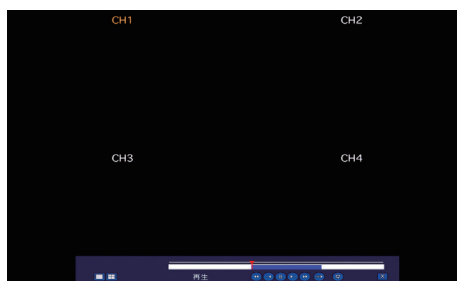
5-1. 検索メニューの基本操作

5-1-1. 検索画面に入るには

① 検索画面に入るには、以下のような方法があります。

- 前面パネルかリモコンの「SEARCH」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーから のアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示される ポップアップメニューから「検索」をクリックします。

② ログイン画面が表示され、パスワードを入れると検索画面が表示されます。
ログイン方法は設定画面に入る時と同じですので、「3-1-2. 設定メニューに入るには」をご参照ください。

5-1-2. 再生時の操作

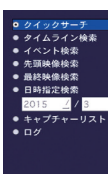
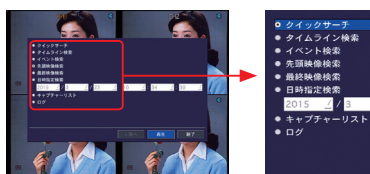
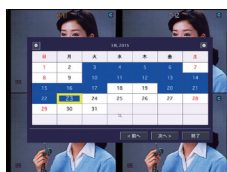
各検索モードで再生したいデータを選択して再生をはじめると、下図のような再生画面が表示されます。

再生画面のコントロールパネルの機能

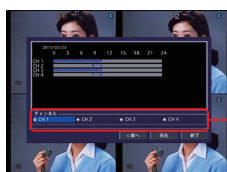
番号		説明
① 録画日時		録画された日付と時刻を表示します。
② タイムバー		再生中の日付の 24 時間をバーで表示します。録画データがある時間帯は、水色のラインで表示されます。 赤いスライドノブは、現在再生中の時点を示します。マウスでスライドノブをドラッグ&ドロップすると、再生時点が変更できます。
③ 画面分割		再生画面の表示方法を選択します。
④ 再生状態		現在の再生モードを表示します。正 / 逆方向、再生速度などの情報が表示されます。
⑤		クリックするごとにボタンが ⇔ に切換わります。 をクリックすると静止画を表示、 をクリックすると再生を再開します。
		現在再生中の時刻より 1 分前 / 先の映像にジャンプして再生します。 一時停止中は 1 分前→一秒前 / 先の映像→コマ送りで表示します。
		早戻し / 早送りします。クリックするごとに再生速度が下記の表のように変わります。
		正方向にスロー再生します。クリックするごとに再生速度が 1/4→1/2→1/4… に切換ります。
		再生中の映像を静止画か動画でバックアップします。
		再生を中止して検索メニューに戻ります。前面パネルやリモコンの「ESC」ボタンを押しても検索メニューに戻ることができます。

画面分割	再生速度
1 画面	x2 → x4 → x8 → x16 → x32 → x64 → x2 → x4 →…
4 画面	x2 → x4 → x8 → x16 → x32 → x2 → x4 →…
9 画面	x2 → x4 → x8 → x16 → x2 → x4 →…
16 画面	x2 → x4 → x8 → x2 → x4 →…

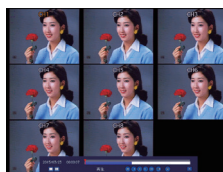
5-2. クイックサーチ

①リモコンの SEARCH ボタンを押す。

② 検索方法を選択する画面が表示されるので、 クイックサーチ を選択する。

③リモコンの SEL ボタンを押し、カレンダーを表示させ録画を再生する日付をリモコンの方向キーで選択し、リモコンの SEL ボタンを押す。

※録画が有る日付は、青色で表示される。
　録画が無い日付は、白色で表示され選択できない。

④タイムバーが表示されるので、リモコンの左右ボタンで再生チャンネルを選択する。

⑤ 再生する時間帯を選択する (時間単位)。
選択した日付の 1 時間毎の先頭録画映像が表示されるので、再生したい時間帯の映像に合わせ SEL ボタンを押す。

※録画が有る時間帯は先頭映像が表示される。
　録画が無い日付は、「データがありません」と表示され選択不可。

⑥ 再生する時間帯を選択する (2 分 30 秒単位)。
選択した時間の 2 分 30 秒毎の先頭録画映像が表示されるので、再生したい時間帯の映像に合わせ SEL ボタンを押すと他のチャンネルのデータと共に再生が始まる。

5-3. タイムライン検索

録画データをタイムラインで検索することができます。

① 検索メニューで「タイムライン検索」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。
② カレンダーに、録画データのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠で表示されています。再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。
③ タイムライン検索画面で、再生したい時刻やチャンネルを選択し、「再生」をクリックすると再生が始まります。

5-3-1. タイムラインからデータを検索するには

タイムライン検索画面の構成は下図の通りです。

タイムライン検索画面の説明

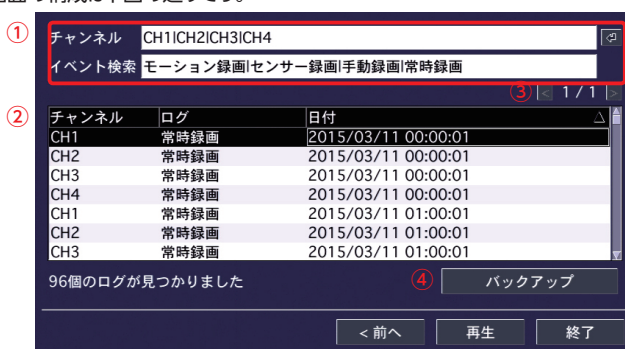
番号		説明
① 録画日時		録画された日付と時刻を表示します。
② タイムスケール		スケールの上の赤いスライドノブをドラッグ&ドロップすることで、再生を始めたい時点を選択します。最初に表示されるスケールは、3 時間単位で 24 時間が表示されますが、ボタンをクリックすることで、10 分単位で 60 分を表示し、さらに選択範囲を絞ることができます。
③ タイムライン		各チャンネルの録画データをタイムラインで表示します。録画データのある時間帯は水色で表示されます。録画データに音声が含まれている時間帯は藍色で表示されます。
④		タイムスケールの目盛りの単位を変更します。クリックするごとタイムスケールの表示単位が 24 時間⇔ 60 分に切換ります。
		タイムスケールの表示単位が 60 分の時、このボタンをクリックするごとに、現在表示中の時間より 1 時間前 / 先の時間帯を表示します。 ※ タイムスケールの表示単位が 24 時間の時は、動作しません。
⑤ チャンネル		再生したいチャンネルを選択します。「ALL」にマークをつけて「再生」ボタンをクリックすると、全てのチャンネルが分割画面で再生されます。

5-4. イベント検索

イベントの種類で録画データを検索することができます。

① 検索メニューで「イベント検索」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。
② カレンダーに、録画データのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠で表示されています。再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。
③ イベント検索画面で、チャンネルやイベントを指定すると表示されるログから、再生したい録画データを選び、「再生」をクリックすると再生が始まります。

5-4-1. イベント検索画面からデータを検索するには

イベント検索画面の構成は下図の通りです。

イベント検索画面の説明

番号	説明
① 検索条件	検索するチャンネルとイベントタイプを表示します。 をクリックすると表示される検索条件画面から、検索したいチャンネルやイベントのタイプにチェックを入れることで検索条件の指定ができます。検索したいチャンネルやイベントのタイプは、複数選択することができます。
② ログ	指定した条件で検索されたログをリストで表示します。「チャンネル」、「ログ」、「日付」をクリックすることで、リストを各項目ごとに整列できます。
③ ページ	表示されたログリストのページを数字で表示します。ページが複数の場合、< >をクリックすると前 / 次のページを表示することができます。
④ バックアップ	検索されたログを、txt 形式のファイルで USB メモリに保存します。USB 端子に USB メモリを接続し、このボタンをクリックすると、保存画面が表示されます。

5-5. 先頭映像検索

検索メニューで「最終映像検索」を選択し、「再生」をクリックすると、HDD に保存されている録画データから一番最新の 1 分間のデータの再生が始まります。

5-6. 最終映像検索

検索メニューで「先頭映像検索」を選択し、「再生」をクリックすると、HDD に保存されている一番古い録画データの再生が始まります。

5-7. 日時指定検索

検索メニューで「日時指定検索」を選択すると、検索したい録画データを年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒で指定できるようになります。日時を設定し、「再生」をクリックすると、指定された日時のデータが再生されます。

5-8. キャプチャーリストの検索

ライブや再生画面の動画や静止画をキャプチャーしたログを検索することができます

① 検索メニューで「キャプチャーリスト」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。

② カレンダーに、録画データのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠で表示されています。再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。

③ 選択した日のキャプチャー記録がリストで表示されます。リストから画像を見たいログを選択し、「表示」をクリックすると、キャプチャー画像の確認やバックアップができます。

5-8-1. キャプチャー画像を確認・バックアップするには

キャプチャー画像の画面の構成は下図の通りです。

イベント検索画面の説明

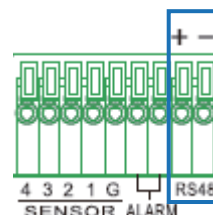
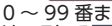
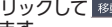
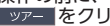
番号	説明
① キャプチャー画像	キャプチャーしたデータの静止画を表示します。
② ページ	表示されたキャプチャーデータの番号を数字で表示します。キャプチャーデータが複数の場合、< > をクリックすると前 / 次のキャプチャー画像が表示できます。
③ キャプチャー情報	キャプチャー時の情報を表示します。キャプチャーチャンネル、バックアップ動画の長さ、録画データの日時、保存メディアなどの情報が確認できます。
④ バックアップ	表示されているキャプチャーデータをさらにバックアップすることができます。USB 端子に USB メモリを接続し、このボタンをクリックすると、キャプチャーデータが USB メモリに保存されます。この時、動画のキャプチャーデータは動画で、静止画のキャプチャーデータは静止画で保存されます。

6.PTZ カメラの操作

6-1. PTZ カメラの基本操作

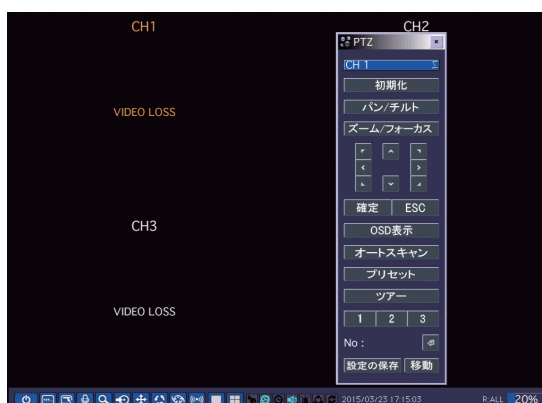
6-1-1. PTZ カメラの接続と設定

① RS-485 対応の PTZ カメラを、DVR の後面パネルの RS-485 ポートに接続します。

② 「デバイス」メニューの「PTZ」項目で、PTZ の設定を行います。
詳細は「3-4-2. コントローラー &PTZ 設定」をご参照ください。

6-1-2. PTZ 操作画面に入るには

① PTZ 操作画面に入るには、以下のような方法があります。

- 前面パネルかリモコンの「PTZ」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーから のアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし､表示されるポップアップメニューから「PTZ」をクリックします。

② ログイン画面が表示され、パスワードを入れると検索画面が表示されます。ログイン方法は設定画面に入る時と同じですので、「3-1-2. 設定メニューに入るには」をご参照ください。

6-2. PTZ 操作画面

PTZ コントロールパネルのボタンの説明

項目	説明
初期化	選択したカメラの PTZ 設定を初期化します。
パン / チルト	パン / チルト をクリックし、 右図のコントロールボタンをクリックすることで 移動したい方向へ移動します。
ズーム / フォーカス	ズーム / フォーカス をクリックし、 / でズーム IN/OUT を、 / でフォーカス NEAR/FAR を調整します。
OSD 表示	カメラの OSD を DVR 画面に表示し、DVR 側でカメラのメニューを設定することができます。 カメラ OSD モードの操作には、下記のボタンを使用します。 （方向ボタン）：メニューの移動 / 設定値の変更 確定：下位メニューに入る / 項目を選択する ESC：前画面に戻る / メニューを終了する
オートスキャン	操作の前に、カメラ OSD からオートスキャン動作を設定してください。 オートスキャン をクリックし､数字ボタンでカメラ OSD から設定したオートスキャン番号を入力し､ 開始 をクリックすると、オートスキャン動作が始まります。 停止 をクリックするとオートスキャンを中止します。
プリセット	パン / チルト動作で、表示したい場所にカメラを位置させ、 プリセット をクリックし、数字ボタンをクリックして 設定の保存 をクリックすると、その時点のカメラ位置が保存されます。 ※カメラ位置は 0 ～ 99 番まで保存できます。 数字ボタンをクリックして 移動 をクリックすると、その番号に保存されたカメラ位置へカメラが移動します。
ツアー	操作の前に、カメラ OSD からツアーグループを設定してください。 ツアー をクリックし、数字ボタンでカメラ OSD から設定したツアーグループの番号を入力し 開始 をクリックすると、ツアー動作が始まります。 停止 をクリックするとツアー動作が中止されます。
数字ボタン	オートスキャン、プリセット、ツアーメニューで使用します。 3 番以上の数字は、 をクリックして表示される入力表から入力できます。

7. バックアップ

7-1. ライブ映像のバックアップ

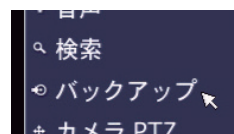
7-1-1. ライブ映像を静止画でバックアップするには

① ライブ映像のバックアップ画面を表示するには、以下のような方法があります。

- ライブ監視中に、前面パネルかリモコンの「BACKUP」ボタンを押します。
- メイン画面の下部のタスクバーから のアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「バックアップ」をクリックします。

② この機種では、バックアップファイルを保存するメディアが USB メモリに指定されています。
「バックアップ」をクリックすると、バックアップが開始され、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

③「完了」というメッセージが表示されると、「閉じる」をクリックし、バックアップ作業を終了します。

④ バックアップされたライブ映像の静止画は、保存したメディアのバックアップ日の日付のフォルダーの中に保存されています。

7-2. 再生映像のバックアップ

7-2-1. 再生映像を静止画でバックアップするには

① 再生映像のバックアップ画面を表示するには、以下のような方法があります。

- 録画データの再生中に、前面パネルかリモコンの「BACKUP」ボタンを押します。
- 再生画面のコントロールパネルの のアイコンをクリックします。
- メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「バックアップ」をクリックします。

② バックアップ画面が表示されると、保存する形式の選択肢の中で「静止画」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

③ この機種では、バックアップファイルを保存するメディアが USB メモリに指定されています。
「バックアップ」をクリックすると、バックアップが開始され、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

④「完了」というメッセージが表示されると、「閉じる」をクリックし、バックアップ作業を終了します。

⑤ バックアップされた再生映像の静止画は、保存メディアの録画データの日付のフォルダーの中に JPEG 形式で保存されています。

7-2-2. 再生映像を動画でバックアップするには

① 再生映像のバックアップ画面を表示するには、以下のような方法があります。

- 録画データの再生中に、前面パネルかリモコンの「BACKUP」ボタンを押します。
- 再生画面のコントロールパネルの のアイコンをクリックします。

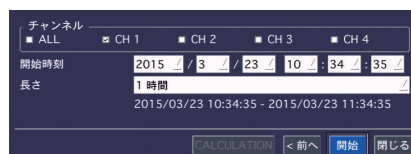
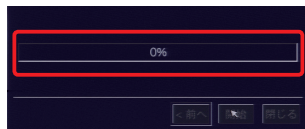
② 再生映像をバックアップする動画形式は、汎用再生ソフトウェアで再生できる AVI 形式と、専用ソフトウェアで再生できる独自の h264 ファイル形式の中で選択することができます。

7-2-2-1. NSF 形式動画バックアップ

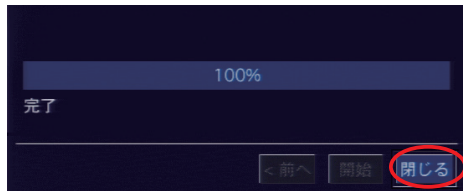
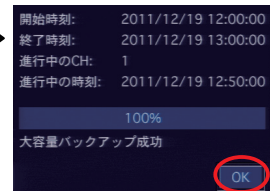
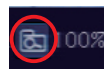
DVR システム独自の動画形式でバックアップし、専用ソフトで再生することで、データ管理のセキュリティーをさらに強化することができます。

① バックアップ画面が表示された後、保存する形式の選択肢の中で「NSF」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

② USB メモリと USB 外付け HDD の中で、保存する装置のタイプにチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。外付け HDD を選択した場合、1 時間単位の大容量バックアップを行うことができます。

③ 下図のような画面が表示されるので、バックアップチャンネル・バックアップ時間を設定します。
大容量バックアップの場合、バックアップ時間の指定範囲が 1 ～ 24 時間に変わります。
「チャンネル」項目でバックアップしたいチャンネルにチェックを入れ、「長さ」項目でバックアップしたいデータの長さを選択し、「次へ」をクリックしてください。

④ バックアップが開始されます。進行状況が表示されます。

[USB メモリ選択時の表示]

[外付け HDD (大容量バックアップ) 選択時の表示]

⑤ USB メモリ選択時は「完了」というメッセージが表示された後、「閉じる」をクリックし、保存装置を端子から取り外します。外付け HDD(大容量バックアップ) 選択時はタスクバーのマークが「100%」と表示された後、マークをクリックし、「OK」をクリックし、保存装置を端子から取り外します。

[USB メモリ選択時の表示]

[外付け HDD (大容量バックアップ) 選択時の表示]

⑥ バックアップされた再生映像の動画は、保存装置の録画データの日付のフォルダーの中に保存されています。
※外付け HDD は FAT32 でフォーマットされたものを使用してください。

7-2-2-2. AVI 形式動画バックアップ

Window Media Player など、汎用動画再生ソフトから再生できる AVI 形式でバックアップすることで、バックアップデータを簡単に再生することができます。

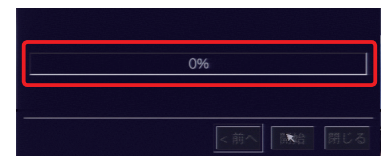
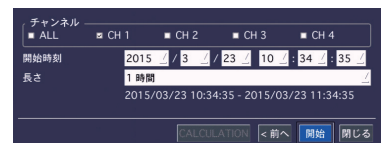
① バックアップ画面が表示された後、保存する形式の選択肢の中で「AVI-INTEGRATED SUBTITLE」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

② 保存する装置のタイプの選択画面が表示されます。AVI 動画の場合は、USB メモリ以外の選択肢がありません。「次へ」をクリックしてください。

③ 右図のような画面が表示された後、バックアップチャンネル・バックアップ時間を設定します。
「チャンネル」項目でバックアップしたいチャンネルにチェックを入れ、「長さ」項目でバックアップしたいデータの長さを選択し、「次へ」をクリックしてください。

④ バックアップが開始され、進行状況が表示されます。

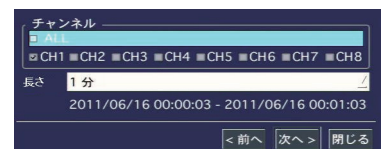
⑤「完了」というメッセージが表示された後、「閉じる」をクリックし、保存装置を端子から取り外します。

⑥ バックアップされた再生映像の動画は、保存装置の録画データの日付のフォルダーの中に保存されています。

7-2-2-3. EXE 形式動画バックアップ

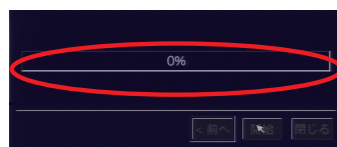
NSF 形式と同様に DVR システム独自の動画形式ですが、専用ソフトに動画データが組み込まれた状態でバックアップされるのでより簡単な手順で再生することができます。

① バックアップ画面が表示された後、保存する形式の選択肢の中で「EXE」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

② 保存する装置のタイプの選択画面が表示されます。EXE 形式 l 動画の場合は、USB メモリー以外の選択肢がありません。「次へ」をクリックしてください。

③ 下図のような画面が表示された後、バックアップチャンネル・バックアップ時間を設定します。
「チャンネル」項目でバックアップしたいチャンネルにチェックを入れ、「長さ」項目でバックアップしたいデータの長さを選択し、「次へ」をクリックしてください。

④ バックアップが開始され、進行状況が表示されます。

⑤「完了」というメッセージが表示された後、「閉じる」をクリックし、保存装置を端子から取り外します。

⑥ バックアップされた再生映像の動画は、保存装置の録画データの日付のフォルダーの中に保存されています。

7-3. キャプチャーリストからのバックアップ

ライブ監視や再生中にバックアップした静止画や動画の記録は、「検索」メニューの「キャプチャーリスト」から検索し、さらにバックアップすることができます。

※詳細は「5-8-1. キャプチャー画像を確認・バックアップするには」をご参照ください。
大容量バックアップの場合は、外付け HDD に直接記録されるため、キャプチャーリストには記録されません。

7-4. 動画バックアップファイルの再生

再生映像の動画バックアップ時、「NSF」を選択すると、バックアップファイルが「h264」の拡張子で保存されます。この時一緒に保存される「DvrPlayer」フォルダー内の「HDPlayer.exe」プログラムで、h264 形式の動画ファイルを再生することができます。一方「AVI-INTEGRATED SUBTITLE」を選択すると、バックアップファイルが「avi」の拡張子で保存されます。

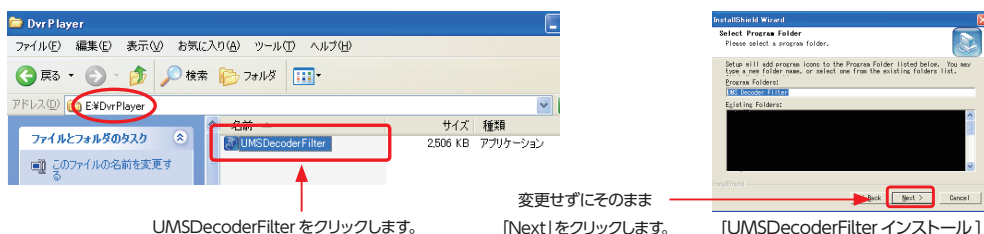
この時一緒に「DvrPlayer」フォルダー内には「UMSDecoderFilter.exe」プログラムが保存されます

> 注意：h264 形式は、特殊な動画ファイル形式であるため、汎用の動画再生ソフトウェアで再生することはできません。

> 注意：初めて AVI 形式ファイルを再生する PC には、「DvrPlayer」フォルダー内の「UMSDecoderFilter.exe」をインストールする必要があります。初回にインストールすれば次の再生からはインストール不要です。（h264 形式では不要です。）

UMSDecoderFilter をクリックします。

変更せずにそのまま「Next」をクリックします。

[UMSDecoderFilter インストール]

7-4-1. 動画ファイルやフォルダーの生成

バックアップした動画ファイルと HD Player は、USB メモリや外付け HDD のフォルダーに保存されています。その時、フォルダーやファイル名は下記のようにつけられます。

[NSF 形式]		
保存されるファイル	保存されるフォルダー	ファイル名
USB メモリバックアップ	ドライブ \yyyymmdd\hhmmss	CH 番号 .h264
外付け HDD(大容量) バックアップ	ドライブ \DVR\yyyymmdd\hhmm	CH 番号 .h264
HD Player	ドライブ \DvrPlayer	HDPlayer.exe

[AVI 形式]		
保存されるファイル	保存されるフォルダー	ファイル名
USB メモリバックアップ	ドライブ \yyyymmdd\hhmmss	CH 番号 .avi
HD Player	ドライブ \DvrPlayer	UMSDecoderFilter.exe

[EXE 形式]		
保存されるファイル	保存されるフォルダー	ファイル名
USB メモリーバックアップ	ドライブ \yyyymmdd\hhmmss	Yyyymmdd_hhmmss.exe

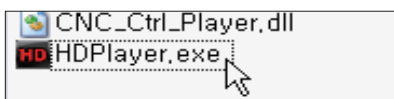
7-4-2. HD Player の構成

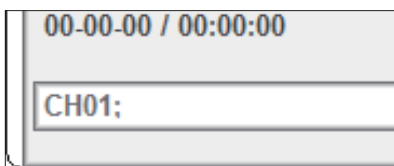
録画データをバックアップした動画ファイルは、一緒にバックアップされる HD Player で PC から再生することができます。

HD Player の構成

番号		説明
① 画面表示部		バックアップ映像が表示されます。 この部分をマウスで操作すると、画像のキャプチャーやデジタルズームなどができます。 ※詳細は「7.4.3.1. HD Player で再生画面のキャプチャー」、「6.4.3.2. HD Player で再生画面のデジタルズーム」をご参照ください。
②		HD Player の画面表示部だけがフルスクリーンに表示します。フルスクリーン状態を解除するには、「ESC」ボタンをクリックしてください。
		HD Player の画面を隠します。
		HD Player の画面をフルスクリーンに表示します。
		HD Player を終了します。
③ タイムバー		動画の再生時点をスライドノブで表示します。スライドノブをドラッグ & ドロップすることで、再生時点を移動することができます。
④ 録画時刻		現在再生中の映像の録画された日付や時刻が表示されます。
⑤ 録画チャンネル		現在再生中の映像のチャンネル番号が表示されます。
⑥		クリックするごとにボタンが⇔に切換わります。をクリックすると静止画を表示、をクリックすると再生を再開します。
		早戻し / 早送りします。クリックするごとに再生速度が 2 倍速→ 4 倍速→ 2 倍速 … に変わります。をクリックして静止画状態になると、に切換ります。このボタンをクリックすると、1 秒前 / 先の画像を表示します。
		現在再生中の時点より 3 秒前 / 先の映像にジャンプして再生します。
⑦	1 4 9 10 16	再生画面を分割画面で表示します。
⑧		再生したい動画のあるフォルダーを選択します。
		音声記録のある動画ファイルを再生します。
		設定画面を表示します。設定画面では、キャプチャー画像の保存フォルダーの指定や、バージョン情報の確認などができます。
⑨ Skip frame	A 30 IPS	「A」マークがオレンジ色で表示されている場合は、PC スペックに合わせて自動で再生フレームレートを調整します。 「A」マークが灰色で表示されている場合は、右のフレームレートで再生されます。 本設定は、全チャンネルに適用されます。

7-4-3. 動画バックアップファイルの再生

① HDPlayer.exe ファイルをダブルクリックし、HD Player を立ち上げます。

② をクリックし、再生したい h264 ファイルのあるフォルダーを選択します。

③ チャンネル欄にチャンネル名が表示されることを確認し、をクリックします。

7-4-3-1. HD Player で再生画面のキャプチャー

HD Player で再生中の動画の画像を、静止画で保存することができます。

① 動画の画面が表示されている画面表示部をマウスの右ボタンでクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

② ポップアップメニューの「Capture」をクリックすると、表示中の画像が PC のハードディスクに JPEG で保存されます。

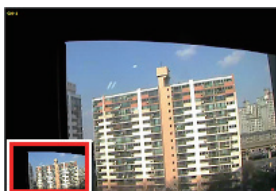
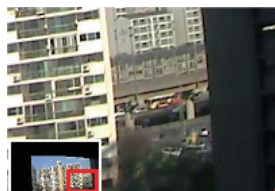
③ ポップアップメニューの「About」をクリックすると、Setup メニューが表示され、キャプチャーする静止画の保存場所を指定することができます。

7-4-3-2. HD Player で再生画面のデジタルズーム

HD Player で再生中の動画の画像を、デジタルズームアップすることができます。

① 動画の画面が表示されている画面表示部にカーソルを位置させ、マウスのホイルを上へスクロールすると画像がズームイン、下へスクロールすると画像がズームアウトされます。

② この時、画面表示部の左下にはミニ画面が表示されます。ミニ画面の赤い枠は、画面表示部に現在表示中の領域を示します。

③ マウスの左ボタンで画面をクリックしてドラッグすることで、ズーム表示領域の位置を移動させることができます。

[左下にミニ画面が表示]　[ホイールでズームイン]　[ドラッグで表示移動]

8. 遠隔で操作するには

付属のクライアントソフトを使うと、DVR の画像をネットワークに接続した PC からモニターできます。

注意： 帯域幅が大きい場合は、1 台の DVR に同時に接続できる PC の台数は 4 台までです。
帯域幅が小さい場合は、1 台の DVR に接続する PC の台数は 1 台にすることをお勧めします。

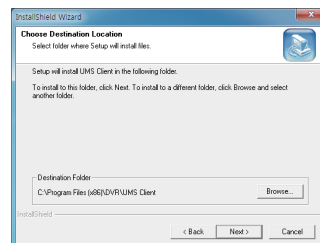
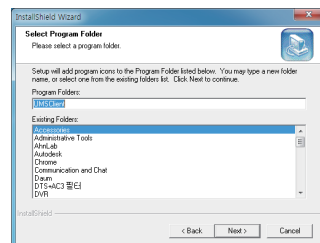
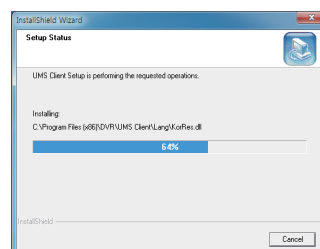
注意： ルーターを通じてインターネットに接続している場合、ルーターからのポートの開放 (Port Forwarding) が必要です。
DVR 本体のネットワークメニューに設定されている基本ポート以外に、PC にマイクを接続し、DVR との双方向オーディオ機能を使用したい場合は、基本ポート +1 のポートをオープンしてください。
尚、Web クライアントや UMS クライアントからの遠隔設定を行いたい場合は、Web ポートをオープンしてください。
(設定例) DVR 本体のネットワークメニューに入力したポート番号が 5445 の場合、ルーターから 5445/5446 の 2 つのポートや、Web ポートの 80 をオープンして使用します。

8-1. UMS クライアントソフトの動作環境

- CPU : Intel Core i3 1.8Ghz 以上
- メモリ : 1GB (推奨 : 1GB　以上)
- VGA メモリ : 512MB (512MB or higher is recommended.)
- 解像度 : 1280x720
- O/S : Windows 2000, XP Professional, XP home, Vista, 7
- Direct X : DirectX 9.0c 以上

8-2. UMS クライアントソフトのインストール

① 付属の CD-ROM を PC のドライブにセットして、「UMSClient(XXXX).exe」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。

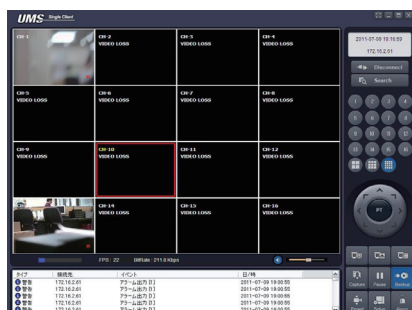
② 「Choose Destination Location」画面でインストール先のフォルダーを確認して「Next」をクリックします。
インストール先のフォルダーを変更する場合は、「Browse」をクリックしてフォルダーを選択してください。

③ 「Select Program Folder」画面でプログラムフォルダーを確認して「Next」をクリックします。
プログラムフォルダーを変更する場合は、ボックスに直接入力するか、あるいは「Existing Folders」のリストから選択してください。

④ インストールが開始され、「Setup Status」画面にインストールの進行状況が表示されます。

⑤ インストールが終了すると、右図のような「UMS Client ／ UMS Multi Client」のショートカットアイコンがデスクトップに表示されます。

UMS Client

⑥ アイコンをクリックすると、クライアントソフトが立ち上がります。

8-3. UMS クライアントの使用

遠隔地にある DVR のカメラ映像を、PC から監視・再生することができます。

8-3-1. ライブモードの構成と各部のはたらき

メイン画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	画面表示部	DVR に接続されているカメラのライブ映像を表示します。各チャンネルをマウスでドラッグ&ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。1 画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
2010-02-02 17:48:42	日時情報	現在の日時を表示します。
Connect	接続 / 切断	ネットワーク状態を接続 / 切断にします。
Search	検索	ライブモードを検索モードに切り換えます。
1 2 3 4	チャンネル表示	選択チャンネルを 1 画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
PT ZF	パン / チルト ズーム / フォーカス	PTZ カメラのパン / チルト / ズーム / フォーカスを調節します。中央のボタンをクリックするごとにパン / チルト↔ズーム / フォーカスモードに切換わります。
	スキャン	PTZ カメラのスキャン動作を行います。
	ツアー	PTZ カメラのツアー動作を行います。
	カメラ OSD	カメラの OSD メニューを UMS の映像表示部に表示します。
Capture	キャプチャー	ライブ画像を静止画で保存します。このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、ライブ画面を bmp か jpg 形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先は C:\Storage\Capture がデフォルトに設定されています。
Pause	再生 / 停止	ライブ画像を再生 / 一時停止させます。
Backup	録画 ON	ライブ画像をパソコンのハードディスクに保存します。
Preset	プリセット	PTZ カメラのプリセットの設定を行います。
Setup	セットアップ	クライアントの設定画面を表示します。
Alarm	アラーム	DVR 側にアラームを発生させます。
HDD	HDD 容量	DVR の HDD の使用容量を表示します。
FPS : 14 BitRate : 241.8 Kbps	ネットワーク状況	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。
	ボリューム	出力音量を調整します。 スピーカーのアイコンをクリックするとこで音声出力を入 / 切にすることもできます
	ログウィンドウ	操作履歴を表示します。

8-3-1-1. UMS クライアントのデジタルズーム機能

DVR 本体と同様、UMS クライアントでもライブ画面のデジタルズームが可能です。

① UMS クライアントの画面表示部にカーソルを位置させると、画面表示部の左下にミニ画面が表示されます。

② マウスのホイールのスクロール操作により、画面表示部に表示される画像がズームイン・アウトされます。
ミニ画面の赤い枠は、画面表示部に現在表示されている領域を示します。

③マウスの左ボタンで画面をドラッグすることで、ズーム表示の位置を移動させることができます。

[左下にミニ画面が表示]　[ホイールでズームイン]　[ドラッグで表示移動]

※ 再生画面も同じ方法でズームすることができます。

8-3-1-2. 双方向オーディオ

UMS クライアント側と DVR 側の双方向オーディオ通信ができます。

A. PC(UMS クライアント) 側 ： マイクやスピーカーに対応するサウンドカードが必要です。

B. DVR 側 ： マイクを音声入力端子に接続し、スピーカーを音声出力端子に接続します。

8-3-2. 検索モードの構成と各部のはたらき

検索画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	画面表示部	再生映像を表示します。各チャンネルをマウスでドラッグ&ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。 1 画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
2010-02-02 17:48:42	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
Connect	接続 / 切断	ネットワーク状態を接続 / 切断にします。
Live	検索	検索モードをライブモードに切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを 1 画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色に表示されます。
Capture	キャプチャー	再生画像を静止画で保存します。ボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され､再生画面をbmpかjpg形式の静止画で保存する事ができます。
Mark in	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
Mark out	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。
Remote Log	ログ	ログの検索 / バックアップをします。
Backup	バックアップ	DVR かパソコンのハードディスクに保存されている録画映像を AVI 形式、NSF 形式、EXE 形式でバックアップします。
0 2 4 6 8	タイムラインバー	24 時間か 60 分を表示するタイムラインです。データのある区間は水色のラインで表示されます。スライドノブをドラック&ドロップすることで再生したい時刻に移動できます。
PC / DVR	PC/DVR	パソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、DVR のハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。
QSearch	クイックサーチ	サムネイル画像をクリックする事によって、再生したい時間を選択する事ができます。 1 時間毎のリスト表示→ 150 秒毎のリスト表示→再生開始 Previous ボタンで 1 つ前の画面に戻ります。
/	再生 / 一時停止	録画映像を再生 / 一時停止します。タイムラインの上で再生したい時刻を選択し、このボタンをクリックすると再生がはじまります。
/	1 フレームずつ再生	録画映像の一時停止状態からクリックするごとに 1 フレームずつ再生されます。
/	1 分ずつ再生	クリックするごとに 1 分先 / 前の映像にスキップされます。
/	早戻し / 早送り	再生中の映像を早戻し / 早送りします。
GO BACK	時刻検索	時刻を入力して検索します。
0-24 0-60	時間単位表示 / 分単位表示	クリックするごとにタイムラインが選択した日の 24 時間の表示 / 選択した時間の 60 分間の表示に切り換わります。
All	チャンネル	再生したいチャンネルを指定します。

8-3-2-1. 動画のバックアップ

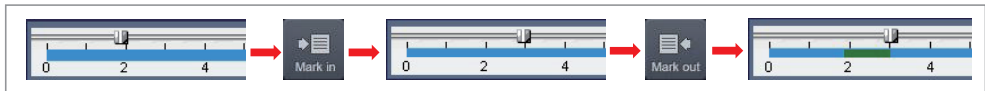
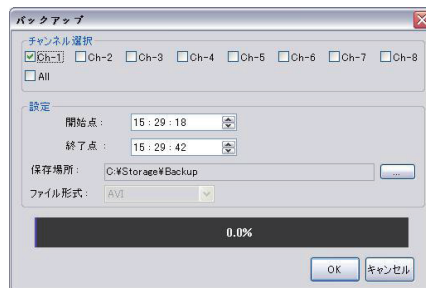
DVR かパソコンのハードディスクに保存されている録画データを動画ファイルでバックアップすることができます。

① PC / DVR ボタンでパソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、DVR のハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。

– PCのデータを再生 : UMS クライアントでライブ画面の監視中に、 ボタンをクリックしてパソコンのハードディスクに保存しておいたデータを再生できます。

– DVR のデータを再生 : DVR の録画設定により、DVR のハードディスクに保存されている録画データをネットワークを通じて再生できます。

② タイムラインのスライドノブをドラッグ&ドロップしてバックアップしたいデータの先頭時刻に位置させ、ボタンをクリックすると、選択時点がバックアップの開始点として指定されます。

③ スライドノブを再度ドラッグ&ドロップして開始点より後の時刻に位置させ、ボタンをクリックすると、選択時点がバックアップの終了点として指定され、開始点と終了点の間の区間が緑色に変わります。

④バックアップする区間が緑色で指定された状態で、ボタンをクリックすると、バックアップのダイアログ画面が表示されます。

- チャンネル選択：バックアップするチャンネルを選択します。
- 開始点 / 終了点：バックアップする時間を再指定することができます。
- 保存場所：バックアップファイルが保存されるフォルダーを指定します。
  デフォルトはC:\Storage\Backupになっています。
- ファイル形式：AVI、NSF、EXE形式で保存されることになります。

⑤バックアップ設定を終え、「OK」ボタンをクリックすると、プログレスゲージに進行状況が表示され、バックアップがはじまります。

8-3-3. 設定のしかた

ボタンをクリックし、UMSクライアントの設定を変更・確認します。

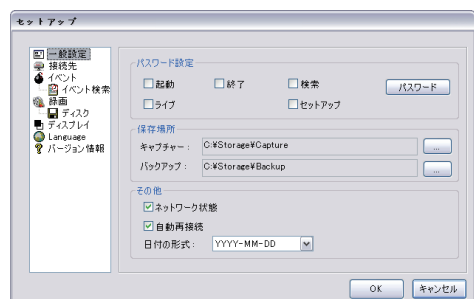
一般設定

パスワード設定：各操作項目にチェックを入れると、その操作を行う時にパスワードが必要になります。「パスワード」ボタンをクリックするとパスワードを設定することができます。

保　存　場　所：キャプチャーした静止画か、バックアップした動画のファイルを保存するフォルダを指定します。

ネットワーク状態：ライブモードで、FPSやBitRateなどのネットワークのステータスを表示します。

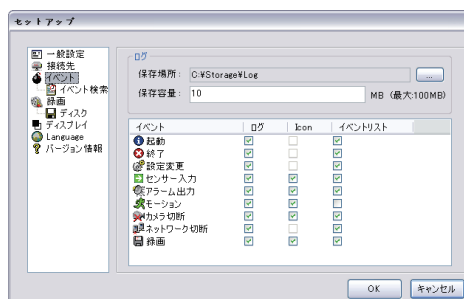
自　動　再　接　続：何らかの原因でネットワークが切断された時、自動的に再接続を行います。

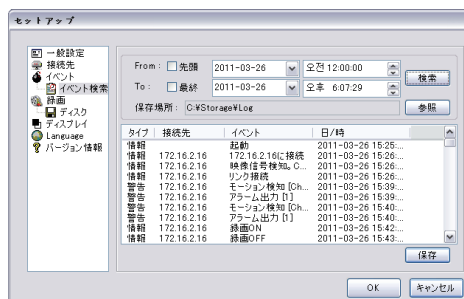
日　付　の　形　式：日付の表示形式を選択します。

接続先

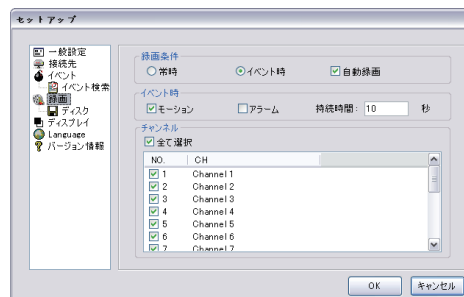
接続したい DVR の Site 名、IP アドレス、ポート番号、パスワードを登録し、UMS クライアントから接続することができます。
接続先の登録数には制限がなく、すでに登録されている接続先の情報を変更・削除することもできます。

イベント

ロ　　　　　グ：UMS クライアントでイベントが発生したログのリストを保存するフォルダと制限容量を設定します。

イ ベ ン ト 設 定：各イベント項目にチェックを入れ、そのイベントが発生した時にログリストに記録するか / ライブ画面にアイコンを表示するか / ライブ画面の下部のログウィンドウに表示するかを設定します。

イベント検索

イベントの発生記録を検索したい日時範囲を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。保存記録の最初から検索したい場合は「先頭」に、保存記録の最後まで検索したい場合は「最終」にチェックを入れてください。

録画

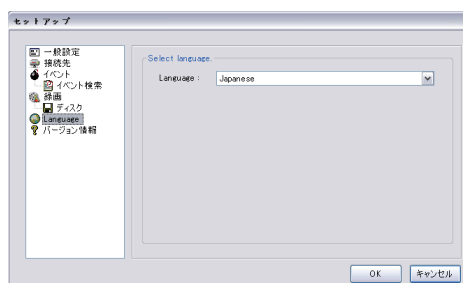
UMS クライアントでライブ画面を録画する時の条件、イベントの種類、チャンネルなどを設定します。

ディスク

UMS クライアントでライブ画面を録画したデータを保存するパソコンのディスクと、データの最大容量を指定します。

ディスプレイ

複数のモニターを使用する PC で、セカンダリーモニターの UMS 映像に乱れが発生すると、このチェックボックスにチェックを入れます。

言語

UMS クライアントは多言語に対応しています。
使用する言語を変更すると、一度プログラムを終了してから再度立ち上げた時から適用されます。

8-3-4. ポップアップメニュー

UMS クライアント画面の上にカーソルを位置させ、マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

接続・切断

接続先に接続するか、接続を切断します。

マイク ON

PC に接続されているマイクを利用し、DVR が設置されている現場に音声を送ることができます。

フルスクリーン

UMS クライアントの画面表示部だけをフルスクリーンで表示します。
フルスクリーン表示を解除する時は、PC の「ESC」ボタンを押します。

セットアップ

UMS クライアントの設定を行います。　※ 詳細は、「8-3-3. 設定のしかた」

ロック

クリックすると、パスワード入力のダイアログが表示されます。パスワードを入力すると、画面表示部のマウス右クリック以外は操作できなくなります。
ロックの解除は同じ手順で行います。
※ ロック設定・解除に入力するパスワードは、セットアップのパスワード設定とは関係なく、4 ～ 8 桁の臨時のものを使います。

終了

UMS クライアントソフトを終了します。

8-4. UMS マルチクライアントソフトの使用

遠隔地にある複数の DVR のカメラ映像を、PC から監視・再生することができます。

8-4-1. ソフトウェアの動作環境

■ 最少構成

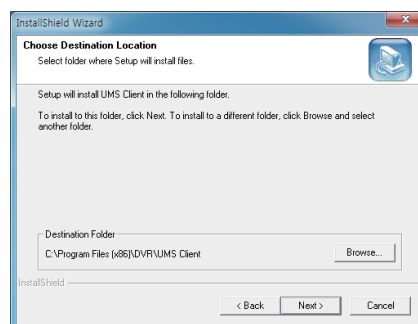
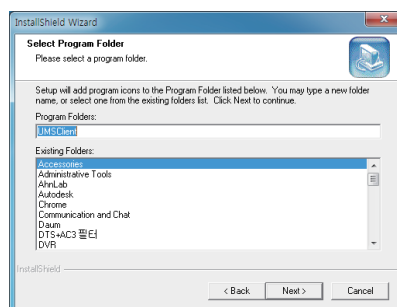
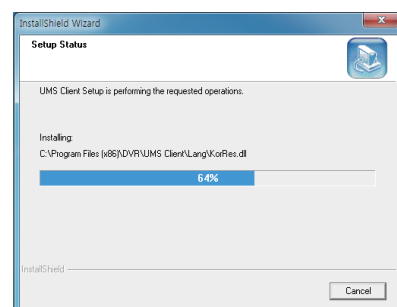
CPU	Intel Core i3
	1.8Ghz
メモリ	2GB DDR2
VGA メモリ	512MB
解像度	1280x720
Disk 空き容量	1GB
OS	Windows 2000, XP Professional, XP Home, Vista, 7
ネットワーク	10/100Base T
その他	Direct X 9.0c　以上

■ 推奨構成

CPU	Intel Core i5
	2Ghz 以上
メモリ	4GB DDR3 以上
VGA メモリ	512MB 以上
解像度	1920x1080
Disk 空き容量	1GB
OS	Windows 2000, XP Professional, XP Home, Vista, 7
ネットワーク	10/100/1000Base T
その他	Direct X 10 以上

8-4-2. UMS クライアントソフトのインストール

① 付属の CD-ROM を PC のドライブにセットして、「UMSMultiClient(XXXX).exe」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。

②「Choose Destination Location」画面でインストール先のフォルダーを確認して「Next」をクリックします。インストール先のフォルダーを変更する場合は、「Browse」をクリックしてフォルダーを選択してください。

③「Select Program Folder」画面でプログラムフォルダーを確認して「Next」をクリックします。
プログラムフォルダーを変更する場合は、ボックスに直接入力するか、あるいは「Existing Folders」のリストから選択してください。

④インストールが開始され、「Setup Status」画面にインストールの進行状況が表示されます。

⑤インストールが終了すると、右図のような「UMS Client ／ UMS Multi Client」のショートカットアイコンがデスクトップに表示されます。
⑥アイコンをクリックすると、クライアントソフトが立ち上がります。

8-4-3. 接続のしかた

8-4-3-1. 接続先の登録

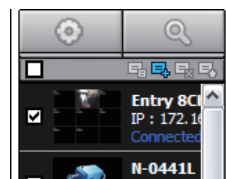
UMS マルチクライアントから DVR に接続するには、接続したい DVR の情報をあらかじめ登録しておく必要があります。
①左側の操作パネルの上部にある アイコンをクリックします。
②「接続先追加」画面が表示されると、接続に必要なアドレス情報などを入力します。

- ●モデル：接続する DVR のモデル群を選択します。
- ●接続先名：DVR に、管理者用の名称をつけてください。
- ●接続先アドレス：DVR のシステム情報に表示されている IP アドレスを入力します。
- ●ポート番号：DVR のネットワークメニューで設定したポート番号を入力します。
- ● ID：接続するユーザータイプを入力します。管理者の場合、「admin」と入力します。
- ●パスワード：DVR の「セキュリティー」メニューで設定したネットワーク用のパスワードを入力します。

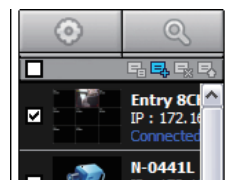
③「OK」をクリックすると、接続先が登録され、リストに表示されます。
※登録可能な接続先の数は、制限されておりません。

8-4-3-2. 接続先への接続

① 接続先リストから、接続したい接続先のチェックボックスにチェックを入れます。
　チェックは複数選択可能です。同時に接続できる接続先の数は、16 ヶ所です。

② ボタンをクリックすると、チェックされた接続先に接続されます。

8-4-3-3. 接続の切断

① 接続先リストから、接続を切断したい接続先のチェックボックスにチェックを
　入れます。チェックは 16 つまで複数選択可能です。

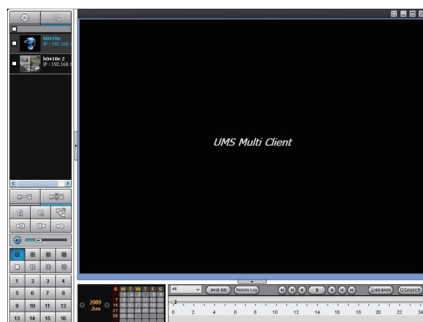
② ボタンをクリックすると、チェックされた接続先の接続が切断されます。

8-4-4. ライブモードの構成と各部のはたらき

UMS クライアントを立ち上げると、最初に表示される画面です。ライブ映像の監視や設定ができます。

ライブ画面のコントロールボタン

ボタン	説明
	パソコンのハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると、再生画面が表示されます。
	DVR のハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると、再生画面が表示されます。
h0410e 2 IP : 192.168.1 Connected h0410e 3 IP : 192.168.1 Connected h0410e 4 IP : 192.168.1 Connected PS-1612-1 IP : 192.168.1 Connected PS-1612-2 IP : 192.168.1 Connected	使用者が登録した全ての接続先のリストを表示します。 接続中の接続先は、「Connected」と表示されます。 サムネール更新：接続中の接続先のサムネールを更新します。 接続先追加：接続先リストに、新しい接続先を登録します。 接続先削除：ハイライトされている接続先をリストから削除します。 接続中の接続先は削除できません。 ネット検索：登録されている接続先のリスト表示され、接続先の追加・削除・変更することがします。
	接続先リストにチェックされている全ての接続先に接続します。
	接続先リストにチェックされている全ての接続先の接続を切断します。
	セットアップ：UMS マルチクライアントの全般的な設定を行います。 詳細は「8-4-5-3. セットアップのしかた」をご参照ください。
	キャプチャー：ライブ画面を静止画でキャプチャーします。
	イベントリスト ： プログラム起動時から終了までのイベントログの閲覧画面が表示されます。
	一時静止：ライブ画面を静止画に表示 / 解除します。
	アラーム ON/ アラーム OFF ： DVR 側に接続してあるアラームを出力開始 / 中止させます。
	録画 ON/ 録画 OFF：ライブ画像をパソコンのハードディスクに保存開始 / 中止します。
	ライブ映像の出力音量を調整します。 をクリックすると音声出力の入 / 切が切換わります。
	マイクの出力音量を調整します。 をクリックすると音声出力の入 / 切が切換わります。
	DVR に接続中の PTZ カメラのプリセット動作を行います。 クリックすると、コントロールボタンがプリセットモードに切換ります。
	DVR に接続中の PTZ カメラのツアー動作を行います。 クリックすると、コントロールボタンがツアーモードに切換ります。
	DVR に接続中の PTZ カメラのスキャン動作を行います。 クリックすると、コントロールボタンがスキャンモードに切換ります。
	DVR に接続中のカメラの OSD メニューを表示します。 クリックすると、コントロールボタンがカメラ OSD モードに切換ります。
PT	コントロールボタン ： DVR に接続中の PTZ カメラに対して、パン / チルト / ズーム / フォーカス / プリセット / ツアー / スキャン / カメラ OSD 操作の制御を行います。
	UMS 画面をフルスクリーン表示 / 最小化 / 最大化 / 終了することができます。 フルスクリーン表示から元の状態に戻すためには、ESC ボタンをクリックしてください。
	DVR に接続されているカメラのライブ映像を表示します。 各チャンネルをマウスでドラッグ＆ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。 1 画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。 をクリックすることで、画面表示部の下の分割ボタンを表示 / 非表示することができます。
	チャンネル分割：ハイライトされた接続先の映像を 1 画面 /4 画面 /9 画面 /16 画面 / カメラ切換で表示します。
	接続先分割：画面に表示する接続先の数を選択します。 1 ヶ所 /4 ヶ所 /9 ヶ所 /16 ヶ所 /DVR 切換で表示できます。

8-4-5. 検索モードの構成と各部のはたらき

操作パネルの一番上の「パソコンの保存データを再生」/「DVR の保存データを再生」ボタンをクリックすると、再生モードの画面が表示されます。使用者のパソコンのハードディスクに保存した映像や、遠隔地の DVR のハードディスクに保存されている映像を再生することができます。

検索画面のコントロールボタン

ボタン	説明
	パソコンのハードディスクに保存された動画を再生します。
	DVR のハードディスクに保存された動画を再生します。
	使用者が登録した全ての接続先のリストを表示します。 DVR のハードディスクに保存されている動画を検査する時、検索中の接続先は「Remote PB」と表示されます。
	接続先リストにチェックされている全ての接続先に接続します。
	接続先リストにチェックされている全ての接続先の接続を切断します。
	セットアップ：UMS マルチクライアントの全般的な設定を行います。 セットアップ画面は、ライブモードの画面に表示されます。
	キャプチャー：再生画面を静止画でキャプチャーします。
	イベントリスト：プログラム起動時から終了までのイベントログが閲覧できます。
	開始点：動画でバックアップしたい再生映像の開始点を指定します。
	終了点：動画でバックアップしたい再生映像の終了点を指定します。
	バックアップ：指定した映像の範囲を動画でバックアップすることができます。
	再生映像の出力音量を調整します。 をクリックすると音声出力の入 / 切換わります。
	接続先分割：画面に表示する接続先の数を選択します。 1 ヶ所 /4 ヶ所 /9 ヶ所 /16 ヶ所で表示できます。
	チャンネル分割 ：ハイライトされた接続先の映像を 1 画面 /4 画面 /9 画面 /16 画面で表示します。
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	チャンネル選択：1 画面で表示したいチャンネルを選択します。
	再生映像を表示します。各チャンネルをマウスでドラッグ&ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。 1 画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。映像表示部の下部には、伝送中のフレームレートやビットレートが表示されます。 をクリックすることで、画面表示部の下のカレンダー、再生操作ボタン、タイムラインを表示 / 非表示することができます。

2010 Nov カレンダー	カレンダーから、データを再生したい日付を選択します。 ◀ をクリックすると前月、▶ をクリックすると次月に切換わります。 録画データのある日付はオレンジ色、選択された日付は水色に表示されます。
All	データを検索したいチャンネルを選択します。 選択したチャンネルの保存データがタイムライン上に表示されます。
0-60　24 HOUR	タイムラインの目盛りの単位を切換えます。 24 HOUR をクリックすると、選択した日付のデータが 24 時間で表示されます。 0-60 をクリックすると、1 時間分のデータが 60 分で表示されます。
Remote Log	ログの検索 / バックアップします。
GO BACK	時刻を入力して検索します。
QSearch	サムネイル画像をクリックする事によって、再生したい時間を選択する事ができます。 1 時間毎のリスト表示→ 150 秒毎のリスト表示→再生開始 Previous ボタンで 1 つ前の画面に戻ります。
再生操作ボタン	再生画面を操作するボタンです。 再生 / 一時静止 / 早送り / 早戻し /1 分スキップなどの操作ができます。
タイムライン	1 日または 1 時間をタイムラインで表示します。 録画データのある時間帯は、タイムライン上に水色の線で表示されます。

8-4-5-1. 再生のしかた

DVR やパソコンのハードディスクに保存されている録画データを検索して再生することができます。

① ライブ画面の操作パネルから、パソコンのハードディスクに保存されているデータを再生したい場合は を、DVR のハードディスクに保存されているデータを再生したい場合は をクリックします。

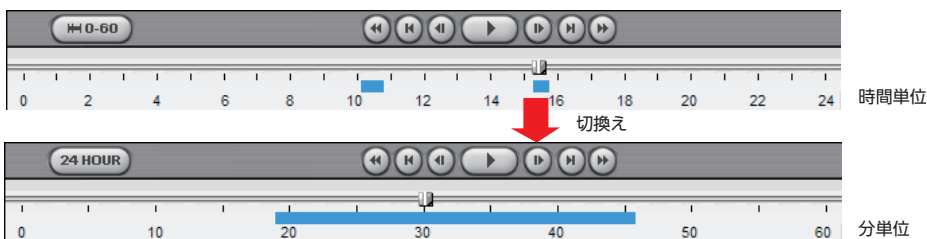
② 接続先リストから、データを検索したい接続先のチェックボックスにチェックを入れ、 をクリックします。

※ パソコンのハードディスクのデータを検索する時は、この作業を行う必要はありません。

③ カレンダーからデータを検索したい日付をクリックします。録画データのある日付はオレンジ色に、選択された日付は水色に表示されます。

④ 選択された日の録画データをタイムラインから確認します。 録画データのある時間帯はタイムライン上で水色の線で表示されます。

⑤ タイムラインの上のスライドノブをドラック&ドロップするか、あるいはタイムライン上をクリックすることで再生を開始するポイントを指定します。

タイムラインの目盛りを「24 時間」から「60 分」に切換えると､再生の開始ポイントがさらに正確に指定できます。

⑥ をクリックすると、再生がはじまります。

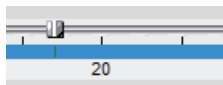
再生中のコントロールボタンは、以下のようなものがあります。

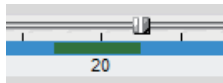
ボタン	機能
▶ ‖	再生 / 一時静止 クリックするごとに映像の再生、静止画の表示状態に切換わります。
◀◀ ▶▶	早送り / 早戻し クリックするごとに再生速度が x1、x2、x4、x8、x16 に切換わります。
⏮ ⏭	1 分スキップ 現在の再生ポイントから 1 分前・先にジャンプして再生します。
◀‖ ‖▶	コマ送り クリックするごとに前・先の画像を 1 フレームずつ表示します。

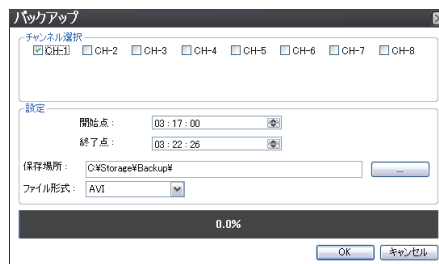
8-4-5-2. 動画のバックアップ

DVR やパソコンのハードディスクに保存されている録画データを動画でバックアップすることができます。

① タイムラインで、録画データのある時間帯を確認します。

② スライドノブをバックアップしたいデータの範囲の開始点に移動して、 ボタンをクリックします。

指定された開始点に濃い緑色の線が表示されます。

③ スライドノブをバックアップしたいデータの範囲の終了点に移動して、 ボタンをクリックします。

指定した開始点から終了点までの範囲が濃い緑色の線で表示されます。

④ ボタンをクリックすると、バックアップ画面が表示されます。

⑤ バックアップ画面で設定を行います。

- チャンネル選択：バックアップしたいチャンネルを選択します。
- 開始点：指定したバックアップ範囲の開始点をさらに変更できます。
- 終了点：指定したバックアップ範囲の終了点をさらに変更できます。
- 保存場所：バックアップした動画を保存する場所を指定します。
- ファイル形式：AVI、NSF、EXE 形式で保存されることになります

⑥「OK」をクリックすると、バックアップが始まり、プログレスゲージに進行状況が表示されます。

⑦ バックアップされたファイル名は [チャンネル番号+録画時刻+ファイルの形式] で保存されます。

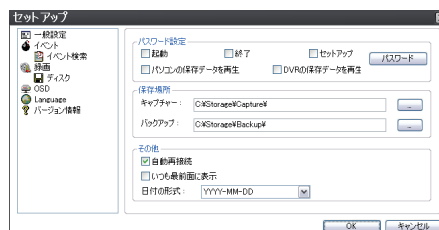
例)

[CH04]04_11_58.avi = 4 番チャンネルの 4 時 11 分 58 秒からの録画映像の動画ファイル

8-4-5-3. セットアップのしかた

ボタンをクリックするとセットアップ画面が表示され、UMS マルチクライアントの設定が変更・確認できます。

一般設定

- パスワード設定 ： 各操作項目にチェックを入れると、その操作を行う時にパスワードが必要になります。「パスワード」ボタンをクリックするとパスワードを設定することができます。
- 保存場所 ：キャプチャーした静止画か、バックアップした動画ファイルを保存するフォルダを指定します。
- 自動再接続： 何らかの原因でネットワークが切断された時、自動的に再接続を行います。
- いつも最善面に表示 ： 他のウィンドウを重ねても UMS マルチクライアント画面が隠されないようになります。
- 日付の形式：日付の表示形式を選択します。

イベント

- ログ：UMS マルチクライアントでイベントが発生したログのリストを保存するフォルダと制限容量を設定します。
- イベント設定 ： 各イベント項目にチェックを入れ、そのイベントが発生した時にログリストに記録するか / ライブ画面にアイコンを表示するか / ライブ画面の下部のログウィンドウに表示するかを設定します。

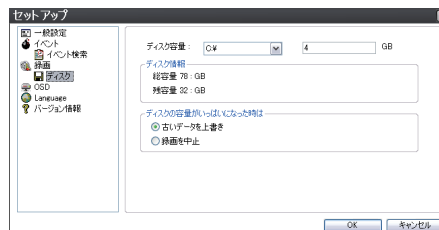
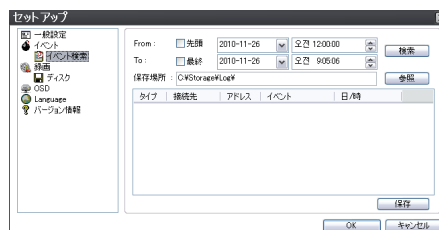
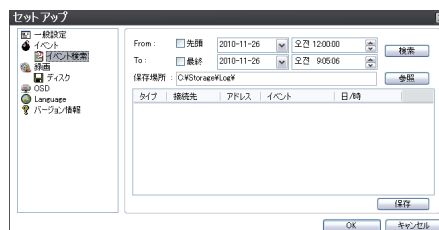
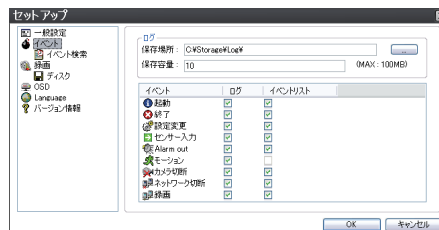
イベント検索

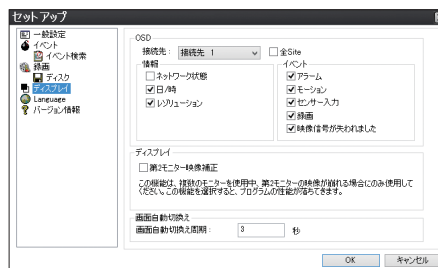
- ログの検索：イベントの発生記録を検索したい日時範囲を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。保存記録の最初から検索したい場合は「先頭」に、保存記録の最後まで検索したい場合は「最終」にチェックを入れてください。
- ログの保存 ： 検索してログがリストで表示されている状態で「保存」ボタンをクリックすると、ログリストを TXT 形式で保存することができます。

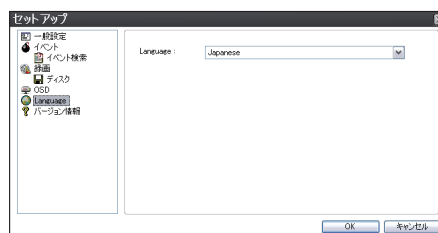
録画

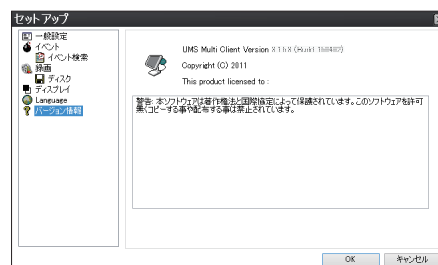
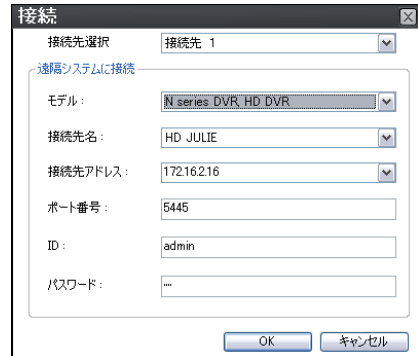
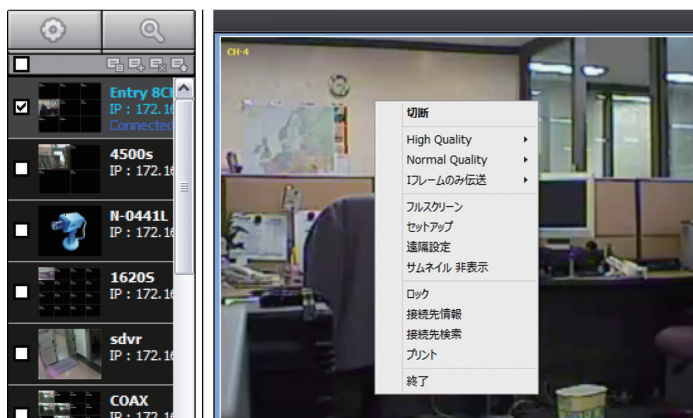
- 録画条件：UMS マルチクライアントのライブ画面で、「録画 ON」ボタンをクリックしてライブ映像をパソコンのハードディスクに保存する時、常時録画を行うか、イベントが発生した時にだけ録画するかを選択します。「自動録画」にチェックを入れると、「録画 ON」ボタンをクリックしなくても、UMS マルチクライアントの起動時から自動的に録画を開始します。
- イベント：「録画条件」を「イベント」に設定した場合、録画を開始するイベント条件を設定します。
  イベント条件は、モーションかアラーム、あるいは両方選択可能です。
  設定したイベント発生時、「持続時間」に記入した時間だけ録画を行います。
- チャンネル：「録画 ON」ボタンをクリックした時、パソコンのハードディスクにライブ映像を保存する接続先やチャンネルを設定します。

ディスク

- ディスク容量：UMS マルチクライアントのライブ画面で、「録画 ON」ボタンをクリックしてライブ映像をパソコンのハードディスクに保存する時、データを保存するパソコンのドライブや、データサイズの上限容量を指定します。
- ディスク情報：UMS マルチクライアントがインストールされているパソコンのハードディスクの情報を表示します。
- 上書き：パソコンのディスクの容量がいっぱいになった時、古いデータを上書きするか、録画を中止するかを選択します。

ディスプレイ

- 接続先：OSD 表示を設定する接続先を選択します。
- 情報 ： 画像表示部の下部に、フレームレートやビットレートなどのネットワーク状態を表示するか、日時情報を表示するかを選択します。
- イベント ： DVR で発生したイベントの中で、UMS クライアントのライブ画面に表示したいイベントを選択します。複数選択できます。
- 第2モニター映像補正 ： 複数のモニターを使用する PC で、セカンダリーモニターの UMS 映像に乱れが発生すると、このチェックボックスにチェックを入れます。
- 画面自動切換：画面自動切換の周期を指定します。

言語

- UMS クライアントで表示する言語を選択します。使用する言語を変更すると、一度プログラムを終了し、再度立ち上げた時点から適用されます。

バージョン情報

- 使用中の UMS クライアントのバージョンが確認できます。

8-4-5-4. ポップアップメニュー

ライブ画面で、画像の上にカーソルを位置させ、マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

接続・切断

接続先に接続するか、接続を切断します。

①ポップアップメニューから「接続」をクリックすると、接続画面が表示されます。
②「接続先選択」から、16ヶ所の中でどのフレームに接続先を表示させるかを選択します。
③選択したフレームの中に表示させる接続先を選択します。
- モデル：接続するDVRのモデルタイプを選択します。
- 接続先名：ドロップダウンボタンをクリックすると、現在登録されている接続先の名前のリストが表示されます。
- ポート番号：選択した接続先のポート番号を入力します。
- ID：接続するユーザータイプを入力します。（admin、user1、user2、user3）
- パスワード：選択した接続先のパスワードを入力します。

④「OK」をクリックすると、選択した接続先の映像が選択した位置に表示されます。
⑤切断する時は、接続中の接続先の画像の上でマウスを右クリックし、ポップアップメニューから「切断」をクリックします。

フルスクリーン

ポップアップメニューから「フルスクリーン」をクリックすると、画像表示部だけがモニターいっぱいに表示されます。フルスクリーンを解除したい場合は、ポップアップメニューから「フルスクリーン」を再度クリックし、チェックをはずしてください。

セットアップ

操作パネルの ボタンをクリックした場合と同様、セットアップ画面が表示されます。
設定方法は、「8-4-5-3. セットアップのしかた」をご参照ください。

iフレームのみ伝送

PCの仕様が低い場合、PCの性能が低下することを防ぐため、画面に表示するフレームをiフレームのみに制限します。

ロック

UMSマルチクライアントのすべての操作機能をロックします。
①ポップアップメニューから「ロック」をクリックすると、パスワード画面が表示されます。
②文字や数字を利用した4～8桁のパスワードを入力します。
このパスワードは臨時のもので、「セットアップ」の「一般設定」で設定したパスワードとは関係ありません。
③ポップアップメニュー以外、マウスの左ボタンのクリックでは、UMSマルチクライアントのどの機能も反応しなくなります。
④ロックを解除する時は、ポップアップメニューから「ロック解除」をクリックし、ロック設定時に入力した臨時のパスワードを入力します。

8-5. Webクライアントの使用

DVRがネットワークに接続されていると、Internet Explorerのブラウザで映像を監視・再生することができます。

8-5-1. IEからの接続

①パソコンのWebブラウザ(Internet Explorer)を起動します。
②ブラウザのアドレスバーにDVRのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。
入力例：アドレス(D) http://172.16.2.1
③ Webブラウザに Web Viewer の画面が表示されます。

8-5-2. ライブモードの構成と各部のはたらき

メイン画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
UMS Single Client	画面表示部	DVR に接続されているカメラのライブ映像を表示します。 各チャンネルをマウスでドラッグ&ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。1 画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
2010-02-02 17:48:42	日時情報	現在の日時を表示します。
Connect	接続 / 切断	ネットワーク状態を接続 / 切断にします。
Search	検索	ライブモードを検索モードに切り換えます。
1 2 3 4	チャンネル表示	選択チャンネルを 1 画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
PT	パン / チルト ズーム / フォーカス	PTZ カメラのパン / チルト / ズーム / フォーカスを調節します。 中央のボタンをクリックするごとにパン / チルト↔ズーム / フォーカスモードに切換わります。
	スキャン	PTZ カメラのスキャン動作を行います。
	ツアー	PTZ カメラのツアー動作を行います。
	カメラ OSD	カメラの OSD メニューを UMS の映像表示部に表示します。
Capture	キャプチャー	ライブ画像を静止画で保存します。このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、ライブ画面を bmp か jpg 形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先は C:\Storage\Capture がデフォルトに設定されています。
Pause	再生 / 停止	ライブ画像を再生 / 一時停止させます。
Preset	プリセット	PTZ カメラのプリセットの設定を行います。
Setup	セットアップ	クライアントの設定画面を表示します。
Alarm	アラーム	DVR 側にアラームを発生させます。
HDD	HDD 容量	DVR の HDD の使用容量を表示します。
FPS : 14 BitRate : 241.8 Kbps	ネットワーク状況	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。
	マイク	マイクの ON/OFF を行います。
	ボリューム	出力音量を調整します。 スピーカーのアイコンをクリックするとここで音声出力を入 / 切にすることもできます
	ログウィンドウ	操作履歴を表示します。

8-5-3. 検索モードの構成と各部のはたらき

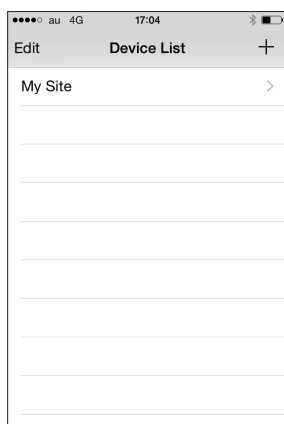
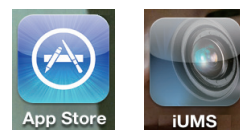
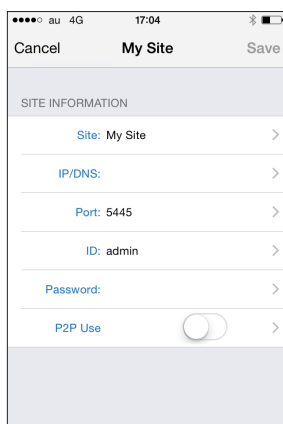
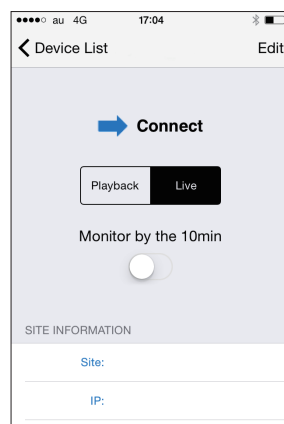
検索画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	画面表示部	再生映像を表示します。各チャンネルをマウスでドラッグ&ドロップすることで、チャンネルの位置を変更することができます。 1 画面表示状態では、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
2010-02-02 17:48:42	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
Connect	接続 / 切断	ネットワーク状態を接続 / 切断にします。
Live	検索	検索モードをライブモードに切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを 1 画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色に表示されます。
Capture	キャプチャー	再生画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、再生画面を bmp か jpg 形式の静止画で保存することができます。
Mark in	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
Mark out	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。
Setup	セットアップ	クライアントの設定画面を表示します。
Remote Log	ログ	ログの検索 / バックアップをします。
Backup	バックアップ	DVR かパソコンのハードディスクに保存されている録画映像を AVI、NSF、EXE 形式でバックアップします。
0 2 4 6 8	タイムラインバー	24 時間か 60 分を表示するタイムラインです。データのある区間は水色のラインで表示されます。スライドノブをドラッグ&ドロップすることで再生したい時刻に移動できます。
/	再生 / 一時停止	録画映像を再生 / 一時停止します。タイムラインの上で再生したい時刻を選択し、このボタンをクリックすると再生がはじまります。
/	1 フレームずつ再生	録画映像の一時停止状態からクリックするごとに 1 フレームずつ再生されます。
/	1 分ずつ再生	クリックするごとに 1 分先 / 前の映像にスキップされます。
/	早戻し / 早送り	再生中の映像を早戻し / 早送りします。
QSearch	クイックサーチ	サムネイル画像をクリックする事によって、再生したい時間を選択する事ができます。　1 時間毎のリスト表示→ 150 秒毎のリスト表示→再生開始 Previous ボタンで 1 つ前の画面に戻ります。
GO BACK	時刻検索	時刻を入力して検索します。
0-24 0-60	時間単位表示 / 分単位表示	クリックするごとにタイムラインが選択した日の 24 時間の表示 / 選択した時間の 60 分間の表示に切り換わります。

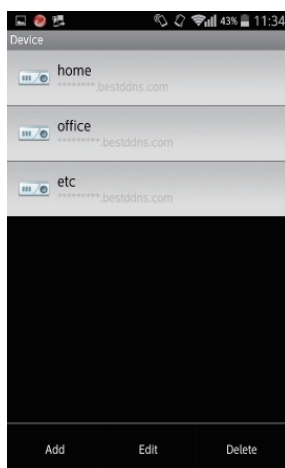
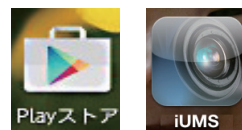
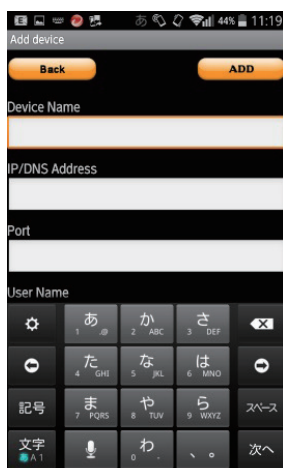
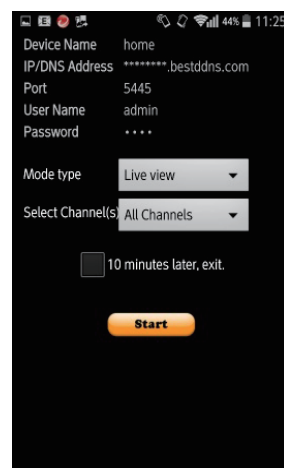
8.6 モバイルでのライブ画面監視

iPhone、Android 対応のスマートフォンで、DVR のライブ画面を見ることができます。

8.6.1 iPhone からの接続

①iPhone の App Store から「iUMS」を検索し、ダウンロードします。
②iUMS を iPhone から立ち上げます。
③接続先リスト画面の右上の ＋ を押して、接続先情報を登録します。
④接続先リストから接続先を選択し、➡ を押すとライブ画面が見られます。

［接続先登録画面へ移動］　［接続先情報の登録］　［接続先のライブ映像を表示］

8.6.2 Android からの接続

①Android の Market から「iUMS」を検索し、ダウンロードします。
②iUMS を Android から立ち上げます。
③接続先リスト画面の左下の Add を押して、接続先情報を登録します。
④接続先リストから接続先名を押すとその接続先のライブ画面が見られます。

［接続先登録画面へ移動］　［接続先情報の登録］　［接続先のライブ映像を表示］

9. 録画目安時間表

・録画時間表は目安として参考にしてください。
・被写体の動き等によって実際の録画時間と異なる場合があります。

DVR-404AH　2TB				
AHD　4 入力 解像度	録画画質	録画フレーム数		
		15f/s	10f/s	5f/s
1280×720	ネットワーク画質	約 68 日	約 80 日	約 98 日
	標準画質	約 54 日	約 66 日	約 80 日
	中画質	約 46 日	約 54 日	約 68 日
	高画質	約 40 日	約 48 日	約 60 日
	最高画質	約 36 日	約 42 日	約 52 日
640×360	ネットワーク画質	約 124 日	約 144 日	約 174 日
	標準画質	約 86 日	約 102 日	約 126 日
	中画質	約 68 日	約 80 日	約 98 日
	高画質	約 54 日	約 66 日	約 80 日
	最高画質	約 46 日	約 54 日	約 68 日
NTSC　4 入力 解像度	録画画質	録画フレーム数		
		30f/s	15f/s	5f/s
960H	ネットワーク画質	約 64 日	約 98 日	約 150 日
	標準画質	約 48 日	約 74 日	約 112 日
	中画質	約 38 日	約 58 日	約 90 日
	高画質	約 32 日	約 50 日	約 75 日
	最高画質	約 30 日	約 46 日	約 69 日
D1	ネットワーク画質	約 94 日	約 148 日	約 225 日
	標準画質	約 64 日	約 98 日	約 150 日
	中画質	約 48 日	約 74 日	約 112 日
	高画質	約 38 日	約 58 日	約 90 日
	最高画質	約 32 日	約 50 日	約 75 日
CIF	ネットワーク画質	約 380 日	約 590 日	約 901 日
	標準画質	約 190 日	約 294 日	約 450 日
	中画質	約 126 日	約 196 日	約 300 日
	高画質	約 94 日	約 148 日	約 225 日
	最高画質	約 64 日	約 98 日	約 150 日

DVR-408AH　2TB				
AHD　8 入力 解像度	録画画質	録画フレーム数		
		15f/s	10f/s	5f/s
1280×720	ネットワーク画質	約 68 日	約 80 日	約 98 日
	標準画質	約 36 日	約 42 日	約 52 日
	中画質	約 24 日	約 28 日	約 36 日
	高画質	約 18 日	約 22 日	約 28 日
	最高画質	約 14 日	約 18 日	約 22 日
640×360	ネットワーク画質	約 68 日	約 80 日	約 98 日
	標準画質	約 46 日	約 54 日	約 68 日
	中画質	約 36 日	約 42 日	約 52 日
	高画質	約 28 日	約 34 日	約 42 日
	最高画質	約 24 日	約 28 日	約 36 日
NTSC　8 入力 解像度	録画画質	録画フレーム数		
		30f/s	15f/s	5f/s
960H	ネットワーク画質	約 32 日	約 50 日	約 75 日
	標準画質	約 24 日	約 36 日	約 56 日
	中画質	約 18 日	約 30 日	約 45 日
	高画質	約 16 日	約 24 日	約 37 日
	最高画質	約 14 日	約 22 日	約 35 日
D1	ネットワーク画質	約 48 日	約 74 日	約 112 日
	標準画質	約 32 日	約 50 日	約 75 日
	中画質	約 24 日	約 36 日	約 56 日
	高画質	約 18 日	約 30 日	約 45 日
	最高画質	約 16 日	約 24 日	約 37 日
CIF	ネットワーク画質	約 190 日	約 294 日	約 450 日
	標準画質	約 94 日	約 148 日	約 225 日
	中画質	約 64 日	約 98 日	約 150 日
	高画質	約 48 日	約 74 日	約 112 日
	最高画質	約 32 日	約 50 日	約 75 日

DVR-416AH　2TB				
AHD　16 入力 解像度	録画画質	録画フレーム数		
		15f/s	10f/s	5f/s
1280 × 720	ネットワーク画質	約 36 日	約 42 日	約 52 日
	標準画質	約 18 日	約 22 日	約 28 日
	中画質	約 12 日	約 14 日	約 18 日
	高画質	約 10 日	約 10 日	約 14 日
	最高画質	約 8 日	約 8 日	約 12 日
640 × 360	ネットワーク画質	約 36 日	約 42 日	約 52 日
	標準画質	約 24 日	約 28 日	約 36 日
	中画質	約 18 日	約 22 日	約 28 日
	高画質	約 14 日	約 18 日	約 22 日
	最高画質	約 12 日	約 14 日	約 18 日
NTSC　16 入力 解像度	録画画質	録画フレーム数		
		30f/s	15f/s	5f/s
960H	ネットワーク画質	約 16 日	約 24 日	約 37 日
	標準画質	約 12 日	約 18 日	約 28 日
	中画質	約 10 日	約 14 日	約 22 日
	高画質	約 8 日	約 12 日	約 19 日
	最高画質	約 8 日	約 12 日	約 17 日
D1	ネットワーク画質	約 24 日	約 36 日	約 56 日
	標準画質	約 16 日	約 24 日	約 37 日
	中画質	約 12 日	約 18 日	約 28 日
	高画質	約 10 日	約 14 日	約 22 日
	最高画質	約 8 日	約 12 日	約 19 日
CIF	ネットワーク画質	約 94 日	約 148 日	約 225 日
	標準画質	約 48 日	約 74 日	約 112 日
	中画質	約 32 日	約 50 日	約 75 日
	高画質	約 24 日	約 36 日	約 56 日
	最高画質	約 16 日	約 24 日	約 37 日

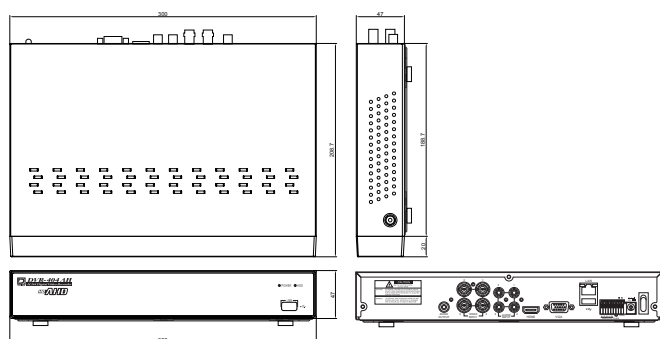
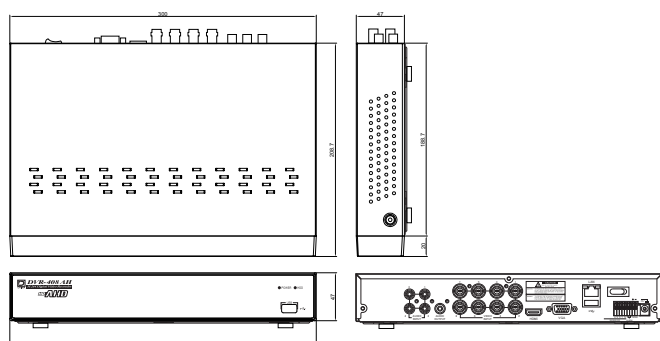
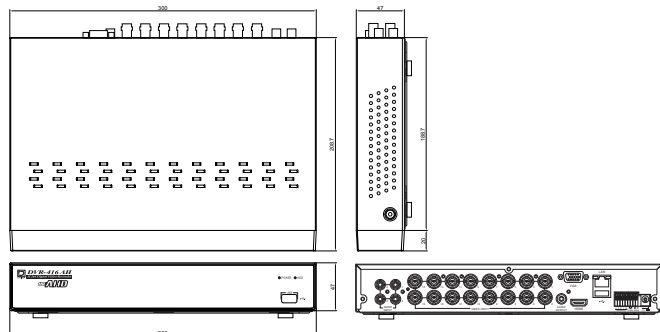
【注】ハードディスクについて

ハードディスクは消耗劣化する部品です。使用環境によりますが、25℃の環境にて通常20,000 時間を超えると、書き込みエラー等が発生しやすくなります。またそれ以上になると、モーターやヘッドの劣化等により寿命にいたる場合があります。ご使用時間が 20,000 時間未満での定期的な交換メンテナンスをお勧めします。（ただし、この時間は目安であり、寿命などを保証するものではありません。）

10. バックアップ目安時間表

モデル名	AHD 解像度	録画 フレーム数	画質	ファイル形式	録画データ 時間（h）	バックアップ 時間（min）	ファイル サイズ（GB）
DVR-404AH	1280x720	15	最高	H.264	24	323	54.2
				AVI	1	15	2.75
DVR-408AH	1280x720	15	最高	H.264	24	692	135.1
				AVI	1	30	5.86
DVR-416AH	1280x720	15	最高	H.264	24	1270	270
				AVI	1	42	11.7

11. 外形図

■ DVR-404AH

■ DVR-408AH

■ DVR-416AH

12. 保証書

● お問合せ先
株式会社ダイワインダストリ
TEL/03-3755-5645 FAX/03-3755-2253
E-mail info@daiwa-industry.co.jp

● 受付時間
平日 (月～金) 9:00 ～ 12：00/13：00 ～ 17：00
土、日、祝日は除く

本社・企画営業本部 / 〒146-0082 東京都大田区池上 3-36-6
TEL.03-3755-5645 FAX.03-3755-2253
http://www.daiwa-industry.co.jp

201508

きりとり

購入年月日	年　　月　　日
型　　式	DVR-404AH/408AH/416AH
お客様	ご住所 お名前 電 話
販売店	店名･住所

保　証　書

1 : 保証期間はお買い上げ月日より 2 年です。
2 : 修理はお買い上げの販売店で受付いたしますので保証書を添えてお出しください。なお､保証期間内でも､本保証書の提示がない場合や必要箇所の記入及び捺印のない場合､そのほか次のような場合の修理は有料となります。
・ 使用方法の誤り､または乱用による故障。
・ 不当な修理､改造､分解掃除等による故障。
・ 天災(落雷､火災)による故障及び損傷。
3 : 修理品の運賃等、諸掛かり費用はお客様にてご負担願います。
4 : 本器の故障のため生じた2次的な事故は保証いたしかねます。
5 : 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

株式会社 ダイワ インダストリ ■本社サービス 東京都大田区池上3-36-6 〒146-0082 TEL : 03-3755-5645(代) FAX : 03-3755-2253